

会長のページ 健康長寿とロコモティブシンドローム	河野 雅行	3
日州医談 宮崎県の小児医療の現状と課題	系数 智美	4
就任挨拶 宮崎大学医学部教授就任挨拶	七島 篤志	6
宮崎大学医学部教授就任挨拶	山下 善弘	8
エコー・リレー(482)	川越 誠志, 弘野 修一	9
メディアの目 高校野球 100 年 その歴史が面白い!	馬登 貴	16
宮崎大学医学部だより(内科学講座消化器血液学分野)	山本章二郎	18
専門分科医会だより(小児科医会)	三宅 和昭	19
ニューメンバー	大塚 伸昭	44
診療メモ C 型肝炎の新しい経口剤治療について	永田 賢治	72

表彰・祝賀	10
宮崎県感染症発生動向	12
各都市医師会だより	14
あなたできますか?(平成 26 年度医師国家試験問題より)	17
薬事情報センターだより(341) 新薬紹介(その 81)	21
平成 2 年度九州学校検診協議会第 1 回専門委員会	22
第 5 回九州ブロック学校保健・学校医大会平成 2 年度九州学校検診協議会(年次大会)	25
九州医師会連合会第 34 回常任委員会, 第 10 回九州医師会連合会定例委員総会	29
第 16 回宮崎県医師会医家芸術展	30
日医インターネットニュースから	32
理事会日誌	34
医師国保組合だより	40
県医の動き	43
会員の異動・変更報告	46
ベストセラー	47
ドクターバンク情報	49
行事予定	53
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	57
宮大医学部学生のページ(第 1 回清花祭)	74
あ と が き	78

~~~~~

|                        |    |
|------------------------|----|
| お知らせ「新春随想」原稿募集         | 20 |
| クールビズについて              | 24 |
| 宮崎県医療勤務環境改善支援センター      | 31 |
| カット, イラストの募集           | 44 |
| 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています | 55 |
| 都市医師会への送付文書            | 76 |

## 医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品 写真〕

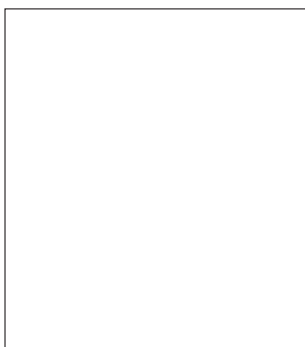
### 南阿蘇の晩秋

写真塾の年一回、恒例の一泊旅行は南阿蘇でした。目的は高原のススキを撮影することでした。

日暮近くスポットを探し当て、夢中で撮影しました。日没後空は茜色に染まり、ススキの穂も赤銅色に変化しました。 宮崎市 <sup>にし</sup>西 <sup>むら</sup>村 <sup>あつ</sup>篤 <sup>のり</sup>乃

## 会長のページ

## 健康長寿とロコモティブシンドローム

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

昨今、「ロコモ」という言葉を多く耳にするようになった。「ロコモ」とはロコモティブシンドロームの略で、運動器症候群と訳されている。現在の日本は世界でもトップの長寿国となった。しかし、歳を取っても元気で動けるいわゆる健康寿命とは 10 年程の差があり、この健康寿命の延伸が望まれている。宮崎県の統計では女性の健康寿命が 74.62 歳で全国 8 位、男性は 71.06 歳で 11 位である。それを全国 1 位にすることを将来の目標としている。要は疾病を早期に発見治療し、社会復帰を図ることは勿論、更に踏み込んで言えば、疾病にかからない工夫・予防に取り組む必要がある。現代人は食生活・生活環境の変遷から運動・歩行頻度が減少

し、足腰が弱くなり、さらに飽食の結果、肥満や糖尿病・高血圧・心臓病等の所謂生活習慣病の有病率が高くなり、ひいては医療費高騰の一因を成しているとの指摘がある。国も国民の健康増進のための生活習慣病予防対策として、特定健診や特定保健指導等の取り組みをしている。しかし、一定の効果は見られるものの、期待された程の結果は得られていない。また、各専門分科医会でもそれぞれに様々な取り組み・対策を行っている。

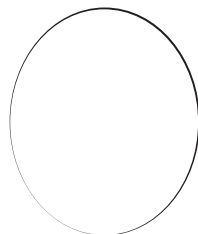
整形外科分野では、転倒による怪我や骨折により、寝たきりや介護を要する状態になるケースが多いことから、様々な対策が講じられた。転倒予防には、特に下半身の骨・筋力増強や関節運動能力・バランス感覚の維持が必須とされている。200 年頃に国立障害者リハビリテーションセンターの中村耕三先生等によってロコモティブシンドローム予防、略してロコモ予防が提唱された。日本整形外科学会ではパンフレットを作成し、一般国民にも分かり易く理解できるような「ロコチェック」やロコモを防ぐ「運動」ロコトレ」を提案して、様々な機会を作り講演や啓発をしている。「ロコモ」とは語呂も良いし、最近はロコモ自体が一種のブームになりつつある。

本年 7 月に日本運動器科学会が宮崎で開催された。ロコモ予防をテーマとした市民公開講座には予想を大きく超える 395 名もの市民が参加し、質疑応答時には活発な質問があり、県民のロコモに対する関心の高さが伺われた。アンケートでは、宮崎県民のロコモ認知度は全国一である。これはロコモの啓発に努力をされている宮崎大学整形外科・帖佐悦男教授の功績に負うところが大きい。

ロコモ予防の結果、元気な高齢者が増える期待が持てるし、それを示唆するデータもある。重症化した生活習慣病や骨折等の外傷を予防することで、高齢者の有病率を下げ、医療費の削減に繋がるのではないかと期待も持てる。若い時分(出来れば小児時代)から運動する習慣を付ければ更に効果は増すものと思われる。先に述べたように宮崎県では健康長寿日本一を目指しており、県医師会も全面的に協力・推進して行きたい。但し、これは我々のみの努力では限界がある。行政・関連団体が協力することは勿論、何と言っても県民各個人の自覚が最重要である。

(平成 27 年 9 月 18 日)

## 日州医談



## 宮崎県の小児医療の現状と課題

理事 いと かず さと み  
系 数 智 美

少子化が問題視される中、私たちの宮崎県でも「みやざき子ども・子育て応援プラン」が策定され、『「子どもの育ち」と「子育て」を支え「子どもの最善の利益」が実現できるみやざきづくり』を基本理念として総合的な施策の推進の取組みが図られている。本県の現状としては、出生数が平成 26 年 9,509 人と過去最低。一方、平成 26 年度の合計特殊出生率（1 人の女性が一生に産む子供の平均数）は 1.60（全国 1.42）と高く、全国 2 位となっているが、人口維持に必要とされる水準（2.07）には達していない状況だという。

このような現状の中、核家族化、共働き家庭の増加や母子カプセル化（過剰に密着した母親と子どもの関係）による孤立など子育ても多様化し、私たち小児科医の担う役割も診療のみにとどまることができなくなってきた。

「小児科は子どもの総合医」ということばの中には、病気だけではなくその子どもを取りまく環境を見守り、家族と一緒に支えることが含まれていることを実感する。

## &lt;乳幼児医療費助成事業&gt;

本県では、9 市 14 町 3 村それぞれの各自治体で、「乳幼児医療費助成事業」及び「幼児入院医療費助成事業」が実施されている。宮崎市をはじめ就学前までは自己負担なしとしている自治体は、串間市、三股町など 2 市 5 町、椎葉村、高千穂町は中学卒業まで自己負担なしとなっている。その他の自治体も 1 歳まで無料、就学前までは 350 円、または小学校 / 中学校卒業まで 500 ~ 1,000 円など、様々な組み合わせを提示し、乳幼児の医療費補助を行っている。入院に関しても、自治体間の差はかなりあるものの、一定の支援が

なされており、子育て中の若い世代の親が安心して子どもの病気の治療を受けられる状況となっている。しかし、就学後まで何らかの補助がある自治体は 4 市 8 町 2 村であり、喘息などの慢性疾患等を抱えた子どもにとっての外来診療の負担は大きいものとなっている。そのため親の経済力がない場合は、治療が続かないケースもある。慢性疾患に限らず、診療費・薬代が払えないことで受診を渋る貧困家庭があることも看過できない。就学後も無料化とまではいなくても、何らかの助成を期待したい。

## &lt;乳幼児健診の取組み&gt;

乳幼児の健康診査は母子保健法に基づき市町村が行っている。本県では 3 ~ 4 か月、7 ~ 8 か月の 2 回（宮崎市と国富町、綾町では 1 歳児健診を含む 3 回）が公費で実施されている。また 1 歳半、3 歳半健診はそれぞれ集団で行っており、成長・発達の評価と歯科健診、眼科健診も同時に実施され総合的な育ちの見守りと子育ての支援がなされている。3 歳半健診での検尿は、特に先天性腎尿路奇形（CAKUT）の発見につながる蛋白尿の意義が見直され、現在検査項目の検討中である。

また、5 歳児健診は、軽度発達障がいの子どもたちを就学前に早期に発見し、就学後の不適応を減らすための支援として意味深いものであるが、今のところ本県では行われていない。しかし、一部の市町村では「5 歳児相談」や「発達相談」と位置づけて集団の中で気づかれた事例や、母親の困り感からの相談のあった事例に医師、保健師、心理士などが個別に介入し、園での対応や就学前相談につなぐ支援を行っている。集

団での 5 歳児健診は、健診医をはじめとするマンパワーの問題や事後フォローが確立されていないこと等で現状では困難な点も多いが、3 歳半健診の精度を上げることで「困り感」のある児へのより早い支援が期待されるとも言える。限られた条件の中で、医師が保健師や心理士、園と連携しながら独自の「みやざき方式」の健診の形をつくっていくことが必要であろう。

さらに、1 か月健診に関しては、今まで産婦人科医にお願いしてきた新生児の健診を小児科医が担う動きが高まっており、本県でも近々手挙げ方式で実現に向かいそうである。

#### < 小児救急医療体制 >

宮崎市夜間急病センターが県病院の敷地内へ移転して 1 年半が経つ。県病院の心強いバックアップをいただきながら、体力気力勝負の長い一晩を戦っている。しかし相変わらず不要な受診は後を絶たず、冬場には一晩で数十名以上が押し掛けた結果、本当に重症の子が待たされるといった理不尽な事例も起きている。また当直にあたる小児科医も高齢化し、このまま行くと 12 時間体制( 19 時から翌 7 時 )は困難になることも懸念される。特に県北の小児科医不足は深刻で、日中の診療終了後毎週当番を強いられる現状は気の毒だけでは済まされない。安易なコンビニ受診を減らすために、私たち小児科医は日頃から急病センターの適切な利用法について口を酸っぱくして言うしかないのであろう。

ただそのような中、小児救急医療電話相談事業 # 8000 はかなり周知されてきた。特に今年 1 月より利用時間帯の延長で 365 日 19 時から翌朝の 8 時までの相談が可能となった( 23 時～翌朝 8 時は民間業者へ委託 )ことは、幼い子どもを抱える親には心強いとともに急病センターへの安易な受診を減らすことにも役立っている。この電話相談の運営には、現在、48 名の県内小児科医と 12 名の看護師の協力をいただいている。今後も # 8000 の利用をもっともっと広めていきたい。

#### < 発達障がい児への支援 >

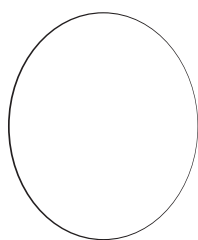
多少の「育てづらさ」を感じる子どもから、明らかに「困っている」タイプまで様々な発達障がい児がいる。その気づきの場面は人それぞれであり、親の受け止め方も様々である。発達障がい児への支援は、子どもたちの特性を理解し、「違い」を認めてあげることから始まる。その気づきは早い方がよく、失敗や叱責の経験が重なることは自信をなくし二次障害( 反抗性挑戦性障害や引きこもりなど )を起こすことにつながる。気づきの場としては、乳幼児健診、就園や就学などの集団生活が多く、その受け皿として就学前は各保健所の発達相談事業( 宮崎市の場合はすこやか相談 )、宮崎県子ども療育センターや宮崎市総合発達支援センターなどが挙げられる。現在後者では相談予約待機者の待ち時間の短縮が努力されており、新規予約は半年以内( 必要に応じさらに早い対応も考慮 )となっている。就学後の受け皿はまだ不十分だ。県病院精神保健センター、独立行政法人宮崎東病院精神科、一部のクリニックがその診断・治療を担っているが、公の機関では待機期間が 3 か月～半年に及び対応が追いついていないのが現状である。

診断に基づく特性理解と環境調整がなされれば、落ち着いて学校生活を送れるケースや、薬物療法の手助けを借りることでトラブルが減るケースに関しても教育現場との連携は不可欠である。

今や自閉症スペクトラムと言われる特性を持つ人は 10 人に 1 人とされている。その中で、誤解され間違った対応で苦しんでいる子どもたちがいるとすれば、早く救い出し自分に自信を持ち「自分らしく」生きることを伝えてあげなければならない。そのためには、医療のみならず教育現場と連携を密にとっていくことが急務である。それに加え、医療機関受診に際し就学後の受診費用の補助制度など、何らかの行政的な支援も期待したい。

## 就 任 挨 拶

## 宮崎大学医学部教授就任挨拶

外科学講座肝胆膵外科学分野教授 <sup>なな</sup>七 <sup>しま</sup>島 <sup>あつ</sup>篤 <sup>し</sup>志

平成 27 年 4 月 1 日に、宮崎大学医学部外科学講座肝胆膵外科学分野の教授に就任いたしました七島篤志です。前身の宮崎医科大学を昭和 63 年に卒業した本学 9 期生ですが、郷里が長崎県であったために、卒業後は長崎大学医学部旧第一外科に入局しました。そこで外科修練を受け、腫瘍研究で学位を取得し、肝臓移植を学ぶためにシドニーへ国外留学いたしました。この 2 年間は肝胆膵外科を中心とした消化器外科分野で大学一筋に進んできました。入局した時の長崎大学医学部旧第一外科の主任教授は、本学の初代第二外科教授を務められた富田正雄先生でした。本学卒業ということもあり公私ともに暖かく見守っていただき数年を面倒見て下さいました。その後、綾部公認教授、永安武教授のもとで肝胆膵外科のスタッフとして過ごし、平成 25 年に准教授になりました。富田教授と綾部教授には外科医の薫陶を受けながら一人前になる指導を受けてきましたが、残念ながらすでにお二人とも他界されました。しかし今もってこのお二人への御恩は忘れることはできません。50 歳も越え、臨床、研究、教育の業績を積み重ねながら大学の仕事しか経験したことがなかったことで、一念発起して宮崎大学医学部の外科学講座教授公募にトライすることになりました。この際、研修医時代から一年先輩で共に仕事を続けてきた永安教授の助けもいただき、約一年間の教授公募に力を注いでできました。多くの方々の協力や助けを

いただきながら平成 27 年 2 月に教授に内定いたしました。

宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科学(第一外科)の皆様にはこの十数年仲良くしていただいていた、特に主任教授として在籍された千々岩一男教授には大学の壁を越えてご指導をいただききました。多くの場面で心温まる応援をいただいていたのですが、今、その千々岩先生のあとを継いでこの職に就いたことに深い感慨を覚えます。また大学のスタッフとして在籍していた多くの先生方とも親しい間柄を保つことができます。母校でもあり、何か私にとって大きな縁を感じることができます。

さて、私が就任すると同時に、宮崎大学医学部は外科学講座の再編とともに大講座制としてスタートすることになりました。住み慣れた故郷を離れ大きく環境が変わり新たなスタートの中で、組織の改編にも携わることは大きなプレッシャーを感じ続けています。私がなすことは、まずは組織の礎を再構築すること、宮崎の外科医療をきちんと成し遂げること、そして何よりも大きく不足している外科医をこれから地道に増やしていくことと理解しています。赴任してまだ半年もたっていませんが毎日が目まぐるしく過ぎ去っていきます。まだまだたくさんの不安を抱えながらも大きな夢を忘れずに邁進する日々を過ごしています。このような中で私の息抜きは、何よりも 20 数年苦勞を掛けてきた妻とできるだけ多くの時間を過ごすこと、そして機会があれば野球で汗を流すことです。体の丈夫さだけが私の取柄でもあります。これからの

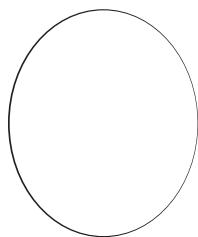
多くの困難を乗り越えるためにも、身体を鍛えることから気持ちを奮い立たせようと考えています。

私が求めることは、今共に働く多くの仲間が  
つらい中でも手を取り合って力を合わせて外科  
医療を突き進んでいてもらいたいということです。  
一方で、外科医を目指す人や他県で活躍  
しながら宮崎県の医療に協力を申し出てくれる  
人も待ち望んでいます。是非、この文面を読ん  
でいる方に私の気持ちが伝わることを強く願っ  
ています。私の部屋には長崎の画家が描いた、  
楽しい職場で働く“ 外科医たぬき ”の絵がかざっ

てあります。なによりも明るい職場を作り上げ  
ることが理想ですので、この絵をいつも大事に  
しています。皆さん是非お立ち寄りの時はご覧  
になってください。スポーツマンとしてのチー  
ムワークや前向きな姿勢、自身の名前にもある  
篤志( とくし )の心をこれからも大事にして、新  
たな外科学講座の発展に貢献していきたいと思  
います。そして歴代の宮崎の外科を支えてこら  
れた先生方に恥じない存在であり続けたいと願っ  
てやみません。皆様、よろしくお願い申し上げ  
ます。

## 就任挨拶

## 宮崎大学医学部教授就任挨拶

感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野教授 やま山 した下 よし善 ひろ弘

平成27年4月1日付けで宮崎大学医学部感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野教授を拝命いたしました山下善弘です。当教室は初代教授の芝良祐先生が創り上げ、そして前教授である迫田隅男先生が

十余年にわたり粉骨砕身されここまで成長してまいりました。この医局をお引き受けするのは、身の引き締まる思いがいたします。先達により築かれました当教室の伝統を受け継ぎ、これまでの経験を生かしてさらなる口腔外科治療の発展に努力したいと考えています。宮崎大学医学部附属病院は、救急医療に周術期と非常に多くの急性期の患者を抱えております。また、宮崎県には歯学部病院はなく、これまでも県内の高度歯科口腔外科疾患の治療に関して中心的な役割を果たしてまいりました。これからも口腔領域の治療における幅広い専門性を維持していくことが重要と考えます。私はこれまで20年以上にわたり口腔における悪性腫瘍を専攻し、臨床の現場に立ちながらも癌の進展や転移の実態の解明を研究しておりました。また、咬合再建を行うことにより悪性腫瘍の根治性を向上しながら患者のQOLを向上させるにはどのような治療方針を選択すべきなのか基礎的見地を交えて研究を行ってきました。

臨床においては、当教室では歯科治療や歯科小手術だけでなく、インプラント、顎変形症、嚢胞、炎症性疾患、悪性腫瘍、そして顎骨の再建など、顎口腔領域すべての治療を行っていま

す。また、矯正歯科を併設しておりますので外科手術を視野に入れた矯正治療も可能です。さらに、口の健康発達ケアセンターでは、唇顎口蓋裂に対する包括的な治療を行っております。出生直後より介入させていただき、構音治療やNAM床を用いた口唇形成手術前の顎矯正などを行います。私自身は、悪性腫瘍や交通事故などにより口腔組織や顔面の欠損を生じてしまった症例に対する遊離組織移植を用いた顎骨再建、顎口腔領域の軟組織再建を数多く経験してきました。顔面というのは審美面だけでなく、機能面においてもQOLに非常に大きなウェイトを占めているところです。顎骨の欠損によりうまく食事がとれない、明瞭にしゃべれないといった方々の助けになればと考えております。また、近年、口腔内の疾患や環境が全身へ与える影響について再認識されており、「医科歯科連携」として日本各地で歯科の重要性がうたわれています。当教室も悪性腫瘍における周術期の口腔ケアを積極的に行い、原疾患の治療に専念できるよう貢献できれば幸いです。

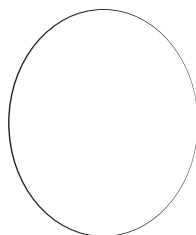
宮崎大学では「世界を視野に、地域から始めよう」というスローガンに則り、世界にはばたける人材の育成に力を入れています。私も一医療人として、この宮崎県の歯科医療に関して地域の患者に高い専門性を持った治療を行いながら、同時に若手歯科医の集まるような魅力的な医局を作り、教育に邁進し世界に通用する人材の育成に尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。

## エコー・リレー

( 48 回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 好きこそものの上手なれ

宮崎市 いしかわ内科 かわ ごえ せい じ 川 越 誠 志

中学生の子どもが軟式野球，小学生の子どもがソフトボールをやっています。小学生のソフトボールは，小さい大会も含めると，年間 30 以上あります。ソフトボール協会の方を手伝う形ですが，試合の審判は父親の役割となります。

ソフトボールにかかわって約 8 年，野球未経験の私ですが，今では審判員やスコアラー，指導者資格まで持つに至りました。

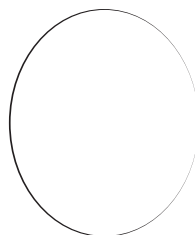
たまの休日は一日試合でつぶれることも多く，月曜がきついこともしょっちゅうです。まあ，医療関係ではなく，いろんな世界の親と交流できることは大切な時間と考えています。

ソフトボールをしていた長男が中学生になり，軟式野球を始めました。小学生のころから，勉強が得意ではなく，「勉強について」口酸っぱく言っていた私ですが，野球大好きな息子の姿を見て，私も，最近は勉強のことはあまり言わなくなりました。「好きこそものの上手なれ」の通り，好きなことをやる環境を作ってあげるのが良いのかなと考えています。

私自身はというと，宮崎に帰ってきて 9 年目を迎えます。自分がやりたかった「在宅医療」をやらせてもらっています。「日高医院」の日高四郎先生の下，そして今年の 3 月からは「いしかわ内科」に勤務させていただき，石川智信先生の下，外来診療と在宅医療に取り組まさせていただいております。「好きなこと，やりたいこと」を仕事としてできることに幸せを感じながら前を向いていきたいと思ひます。

〔 次回は 串間市の加藤 久仁彦先生をお願いします 〕

## 松井用水

宮崎市 ひろの内内科クリニック ひろ の しゅう いち 弘 野 修 一

自転車で通勤していた頃，気になる看板を見つけた。県立看護大学にほど近い県道 337 号線沿いにあり，松井用水について書かれてあった。今から 370 年以上前に，飢肥藩清武郷の松井五郎兵衛が私財をな

げうって全長 1km に及ぶ用水路を開削し，200ヘクタール以上を灌漑して水不足に困窮していた赤江地区の農民を救ったというのである。しかもその水路は現在も利用されており近隣の田圃を潤している。水源には記念碑があり，彼の遺徳をしのんで毎年慰霊祭が行われるという。私は自転車で用水沿いに上流に向かった。清武川にある松井井関の取水口からは川の水が滔々と狭い水路に流れ込んでいた。用水は沖電気の工場横を走り，岩切の交差点で二手に分かれるが，大きな流れは直角に曲がり赤江方面に向かって先ほどの看板の横を走る。水神様が祀られているのはこの用水が生きていることの証である。田圃地帯を走ったその先は住宅地や商業地に向かい暗渠となり視界から消えていく。そのことをホームページに載せたら，あるとき五郎兵衛翁のご子孫から連絡があった。先祖の事を思い出しうれしくて連絡をくださったそう。最近ふと思い立って松井用水の源流からもう一度たどってみた。用水が道路に消えていくあたり，県立農業高校の近くの丘に稻荷神社があるが，その参道の急な階段を登っていくと，途中に小さな神社が建っている。それが五郎兵衛翁を祀った「松井神社」である。

〔 次回は 日向市の川原 岳先生をお願いします 〕

## 表彰・祝賀

## 救急医療功労により県知事表彰

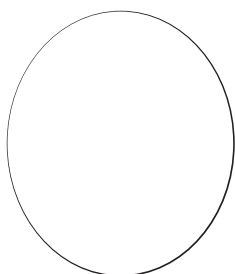
こ が かず み  
古 賀 和 美 先生（宮 崎）

お がわ おさむ  
小 川 修 先生（延 岡）

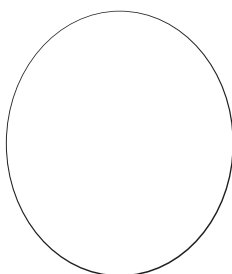
いわ み あき おみ  
岩 見 晶 臣 先生（西 都）

平成 2 年 9 月 7 日，救急医療功労により県知事表彰をお受けになりました。

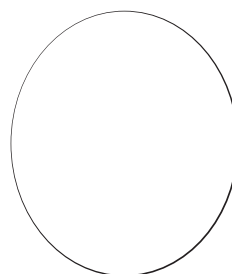
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



古賀 先生



小川 先生



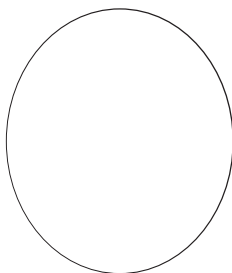
岩見 先生

## 救急医療功労により厚生労働大臣表彰

なつ た やす のり  
夏 田 康 則 先生（都 城）

平成 2 年 9 月 9 日，救急医療功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



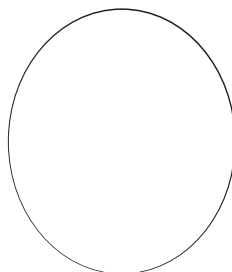
夏田 先生

## 産科医療功労により厚生労働大臣表彰

すみ きよ かた  
隅 清 賢 先生（都 城）

平成 2 年 9 月 10 日，産科医療功労により厚生労働大臣表彰をお受け  
になりました。

衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いた  
します。



隅 先生



## 宮崎県感染症発生動向 ～ 8 月 ～

平成 27 年 8 月 3 日～平成 27 年 8 月 30 日(第 32 週～35 週)

## ■ 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類 ○結核 13 例：保健所別報告数を【図 1】に示した。患者が 9 例、無症状病原体保有者が 2 例、疑似症患者が 2 例であった。患者は肺結核が 7 例、その他の結核(結核性胸膜炎、結核性リンパ節炎各 1 例)が 2 例であった【表 1】。性別は男性 6 例・女性 7 例で、年齢別報告数を【表 2】に示した。

3 類 ○腸管出血性大腸菌感染症 10 例：高鍋保健所管内で 4 例、都城保健所管内で 3 例、日南保健所管内で 2 例、宮崎市保健所管内で 1 例報告があった。患者が 5 例(HUS 発症例無し)、無症状病原体保有者が 5 例で、年齢別では 0～4 歳が 2 例、5～9 歳が 2 例、10 歳代が 1 例、40 歳代及び 50 歳代が各 1 例ずつ、70 歳代が 3 例であった。主な症状として腹痛、水様性下痢、血便がみられた。原因菌の O 血清型は O 157 VT 1, 2 産生 3 例、VT 2 産生 2 例が 5 例、O 26 VT 産生 1 例、VT 型不明 2 例が 3 例、O 115 VT 産生が 2 例であった。

4 類 ○重症熱性血小板減少症候群(SFTS) 1 例：日南保健所管内で報告があった。80 歳代で、主な症状として、発熱、下痢、食欲不振、血小板減少、白血球減少、出血傾向、刺し口がみられた。海外渡航歴はなかった。

○日本紅斑熱 2 例：都城及び日南保健所管内で各 1 例ずつ報告があった。60 歳代と 70 歳代各 1 例ずつで、主な症状として発熱、頭痛、刺し口、発疹がみられた。

5 類 ○カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例：宮崎市保健所管内で報告があった。70 歳代で、尿路感染症であった。菌種名は *Enterobacter aerogenes* であった。海外渡航歴はなかった。

○急性脳炎 1 例：宮崎市保健所管内で報告があった。5～9 歳で、主な症状として発熱、嘔吐、痙攣、意識障害がみられた。原因病原体は不明であった。

○後天性免疫不全症候群 1 例：宮崎市保健所管内で報告があった。20 歳代男性で、AIDS であった。AIDS の指標疾患はニューモシスティス肺炎で、主な症状として発熱、咳嗽、喀痰、呼吸困難、下痢、食欲不振、体重減少がみられた。

○水痘(入院例) 1 例：宮崎市保健所管内で報告があった。20 歳代で、主な症状として発熱、発疹がみられた。水痘ワクチン接種歴はなかった。

○侵襲性肺炎球菌感染症 1 例：宮崎市保健所管内で報告があった。80 歳代で、主な症状として頭痛、発熱、咳、全身倦怠感、嘔吐がみられた。ワクチン接種歴はなかった。

○破傷風 1 例：日南保健所管内で報告があった。70 歳代で、主な症状として筋肉のこわばり、開口障害、発語障害、痙攣がみられた。

## ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 3,747 人(定点あたり 117.1)で、前月比 73%と減少した。また、例年の 144%と多い。

前月に比べ増加した主な疾患は RS ウイルス感染症で、減少した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病とヘルパンギーナであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病と伝染性紅斑であった。

RS ウイルス感染症の報告数は 256 人(7.1)で前月の約 2.6 倍、例年の約 1.3 倍であった。都城(14.8)、宮崎市(11.1)、中央(11.0)保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳が全体の約半数を占めた。

手足口病の報告数は 1,667 人(46.3)で前月の約 0.7 倍、例年の

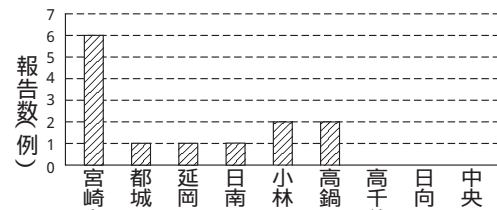


図 1 結核 保健所別報告数

表 1 結核 病型別報告数(例)

|                 |   |
|-----------------|---|
| 肺結核             | 7 |
| その他の結核(結核性胸膜炎等) | 2 |
| 無症状病原体保有者       | 2 |
| 疑似症患者           | 2 |

表 2 結核 年齢別報告数(例)

| 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 1    | 2    | 1    | 2    | 2    | 1    | 4    |

前月との比較

|                    | 2015年 8 月  |              | 2015年 7 月  |              | 例年との比較 |
|--------------------|------------|--------------|------------|--------------|--------|
|                    | 報告数<br>(人) | 定点当<br>たり(人) | 報告数<br>(人) | 定点当<br>たり(人) |        |
| インフルエンザ            | 4          | 0.1          | 27         | 0.5          |        |
| RS ウイルス感染症         | 256        | 7.1          | 98         | 2.7          |        |
| 咽頭結膜熱              | 87         | 2.4          | 109        | 3.0          |        |
| 溶レン菌咽頭炎            | 195        | 5.4          | 322        | 8.9          |        |
| 感染性胃腸炎             | 771        | 21.4         | 1,142      | 31.7         |        |
| 水痘                 | 62         | 1.7          | 112        | 3.1          |        |
| 手足口病               | 1,667      | 46.3         | 2,268      | 63.0         |        |
| 伝染性紅斑              | 43         | 1.2          | 53         | 1.5          |        |
| 突発性発しん             | 141        | 3.9          | 174        | 4.8          |        |
| 百日咳                | 0          | 0.0          | 3          | 0.1          |        |
| ヘルパンギーナ            | 357        | 9.9          | 785        | 21.8         |        |
| 流行性耳下腺炎            | 69         | 1.9          | 108        | 3.0          |        |
| 急性出血性結膜炎           | 0          | 0.0          | 0          | 0.0          |        |
| 流行性角結膜炎            | 89         | 14.8         | 88         | 14.7         |        |
| 細菌性髄膜炎             | 0          | 0.0          | 0          | 0.0          |        |
| 無菌性髄膜炎             | 5          | 0.7          | 0          | 0.0          |        |
| マイコプラズマ肺炎          | 1          | 0.1          | 0          | 0.0          |        |
| クラミジア肺炎            | 0          | 0.0          | 1          | 0.1          |        |
| 感染性胃腸炎<br>(ロタウイルス) | 0          | 0.0          | 4          | 0.6          |        |

例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い  
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## ■ 病原体検出情報 (微生物部)

|   | 検出病原体             | 件 |   |                                         |   |
|---|-------------------|---|---|-----------------------------------------|---|
| ウ | インフルエンザウイルス A H 3 | 1 | 細 | 腸管病原性大腸菌 (EPEC $\chi$ OUT H 10)         | 1 |
|   | エコーウイルス 3 型       | 6 |   | 腸管病原性大腸菌 (EPEC $\chi$ OUT HNM )         | 1 |
|   | コクサッキーウイルス A 6    | 2 |   | 腸管出血性大腸菌 (EHEC $\chi$ O 26 H 11 VT 1)   | 2 |
|   | コクサッキーウイルス B 4    | 1 |   | 腸管出血性大腸菌 (EHEC $\chi$ O 26 H 11 VT 1,2) | 1 |
|   | サイトメガロウイルス        | 1 |   | 腸管出血性大腸菌 (EHEC $\chi$ O 103 H 2 VT 1)   | 2 |
|   | 水痘・带状疱疹ウイルス       | 1 |   | 腸管出血性大腸菌 (EHEC $\chi$ O 115 H 10 VT 1)  | 3 |
|   | パラインフルエンザウイルス 3 型 | 1 |   | 腸管出血性大腸菌 (EHEC $\chi$ O 157 H 7 VT 2)   | 1 |
|   | パレコウイルス 1 型       | 1 |   | 腸管凝集性大腸菌 (EA ggEC $\chi$ O 111 H 21)    | 1 |
|   | ヒトコロナウイルス OC 43   | 2 |   | Bordetella pertussis (百日咳菌)             | 2 |
|   | ヒトヘルペスウイルス 6 型    | 2 |   | Escherichia albertii                    | 1 |
| ス | ライノウイルス           | 3 | 菌 | Legionella pneumophila SG 1             | 1 |
|   | RS ウイルス           | 1 |   | Mycoplasma pneumoniae                   | 2 |
|   |                   |   |   | Salmonella Typhimurium (O 4 i -)        | 1 |
|   |                   |   |   | Salmonella Enteritidis (O 9 g m -)      | 1 |

約 3. 倍であった。延岡 (54.8), 宮崎市 (54.7), 日南 (47.0) 保健所からの報告が多く, 年齢別では 1 ~ 2 歳が全体の約 6 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 357 人 (9.9) で前月の約 0.5 倍, 例年と同程度であった。日向 (21.3), 日南 (20.7) 保健所からの報告が多く, 年齢別では 1 ~ 2 歳が全体の約 6 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 43 人 (1.2) で前月の約 0.8 倍, 例年の約 4.8 倍であった。日南 (2.7), 宮崎市 (2.1) 保健所からの報告が多く, 年齢別では 4 ~ 5 歳が全体の約半数を占めた。

## ■ 月報告対象疾患の発生動向 2015 年 8 月

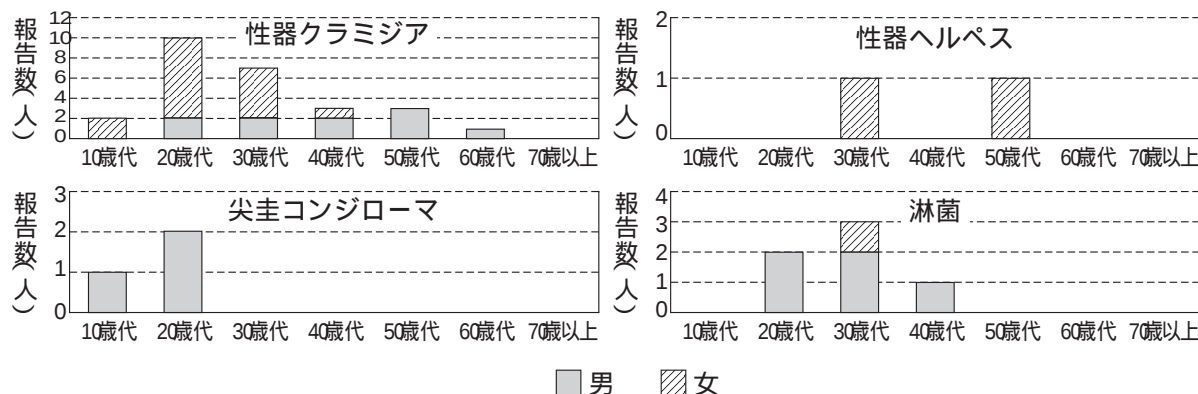
## □ 性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は 37 人 (2.9) で, 前月比 82% と減少した。また, 昨年 8 月 (2.9) とほぼ同じであった。

## 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症 報告数 26 人 (2.0) で, 前月の約 0.9 倍, 昨年 8 月の約 1.2 倍であった。20 歳代が全体の約 4 割を占めた (男性 10 人・女性 16 人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症 報告数 2 人 (0.15) で, 前月の 0.5 倍, 昨年 8 月の約 0. 倍であった (女性 2 人)。
- 尖圭コンジローマ 報告数 3 人 (0.23) で, 前月及び昨年 8 月の 1.5 倍であった (男性 3 人)。
- 淋菌感染症 報告数 6 人 (0.46) で, 前月の約 0.5 倍, 昨年 8 月の 0.5 倍であった。30 歳代が全体の半数を占めた (男性 5 人・女性 1 人)。



## □ 薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は 21 人 (3.0) で前月比 84% と減少した。また昨年 8 月 (4.0) の約 0.8 倍であった。

## 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数 21 人 (3.0) で, 前月及び昨年 8 月の約 0.9 倍であった。70 歳以上が全体の約半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 報告はなかった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

## 各都市医師会だより

### 児 湯 医 師 会

先日、新富町で児湯地区保健委員会が開催され、児湯医師会予防接種委員会委員である喜多委員と一緒に参加してきました。主な議題は来年度の予防接種についてです。児湯 5 町は、任意予防接種であるロタウイルス、B型肝炎およびおたふくかぜワクチンの助成を昨年から足並みそろえて行ってくれています(一部の町は子どものインフルエンザワクチンの助成も)。予算の厳しい折、大変有り難く思っております。どの医師会も同じかもしれませんが、行政側からは予防接種委託料を下げてほしいとの要望があがっていました。今回、これまでの経緯と今後も任意予防接種の助成を継続していくことを条件に要求をのむことに同意しました。医療機関にとっても厳しい環境は続いているようですが、ここは子どもたちの健康を守ることとを最優先に考えての譲歩です。本来、予防接種で予防できる病気を予防することは子どもにとってのみならず、保護者にとっても仕事を休む機会が減り、行政機関にとっても結局医療費削減に結びつくことは実証されています。決して財政に余裕があるとは言えない児湯郡でも任意予防接種の助成ができています。まだ助成をされていない県内他市町村にも、任意予防接種助成の流れが広がっていくことを切望しております。

未来を担う子どもたちが、少なくとも予防接種に関しては住んでいる地域、経済格差で不利益を被らないようにしていただきたいものです。  
(高山 修二)

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

当会は宮崎市夜間急病センター運営、休日在宅当番医など宮崎市からの様々な委託事業を引き受け、実施しています。今後は更に在宅医療、地域包括ケアシステムを推進していかなければなりません。そのためには宮崎市の様々な立場の方々と顔の見える関係を構築し、率直な意見交換をする必要があります。このような会合を通して皆様に当会の存在と活動を再認識していただくとともに、我々も地域の要望や実情を知る機会とし、お互いの更なる信頼関係を構築することが市民の健康と安心に寄与するものと思います。  
(首藤 謙二)

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

新病院開院後約 5 か月が経ちましたが、病院の先生方、職員の方々そして会員の先生方のご協力で、地域の拠点病院として順調に診療体制を整えていただいています。夜間急病センターの当直に関しましては、私ども開業医の高齢化の問題もあり、ご協力いただける先生方の確保が難しくなっており今後の喫緊の課題です。医療体制維持のために皆で協力し合っているところです。  
(政所 治道)

### 延 岡 市 医 師 会

県北では乳幼児診療を急病センター、休日当番医で、県立延岡病院の深夜帯と併せ 36 時体制で行っています。しかし昨年度より会員の先生

方の高齢化などで辞退が相次ぎ、現行サービスの撤退を検討するところまでできておりましたが、宮崎大学小児科からの急病センター応援増員、新規開業等で元通りとはいきませんが何とか現行サービスを維持しています。薄氷を踏む思いであることに変わりはありませんが。

(平野 雅弘)

### 日向市東臼杵郡医師会

当医師会では看護学校と訪問看護ステーションに看護職を雇用しています。しかしどちらも退職者の後補充ができない状況が続く、雇用に苦労しています。要因として、専任教員については、県外(福岡等)での8か月間の専任教員養成講習があること、訪問看護師については、24時間体制勤務が考えられます。

今後、専任教員については、有資格者を増やすためにも県内開催を要望していくこと、訪問看護師については、在宅医療を推進するうえで不可欠な職員であるため早急に労働条件の見直しを検討する必要性を感じています。

(渡邊 康久)

### 西都市西児湯医師会

当医師会の岩見会長が救急医療事業功労者として知事表彰を受けました。西都市西児湯医師会立救急病院の運営に携わり、地域の救急医療の確立に貢献したことが評価されたためです。大変喜ばしく思います。しかし、平成 25年 4月以降、内科の夜間外来が中断されてから二年半がたちますが、医師会としての解決策は見つからないままです。残念に思います。会員の減少

と高齢化によるマンパワー不足の中、当医師会だけで元のように夜間の救急医療を立て直すのは至難の業です。

(杉尾 克徳)

### 南 那 珂 医 師 会

夏休みは中学生の職場体験学習が盛んに行われる。南那珂医師会管内でも多くの医療施設が受け入れたと聞く。中学生にとって、医療現場を体験することは職業選択において大変有意義なことと思う。しかし、いくつか安全性の面で気になる点がある。1 学生が病院で実習するときは抗体検査が義務付けられているが守られているか。2 県外のある病院では、実習中の看護学生が自らが転倒して抱っこしていた子どもに怪我をさせるなどの事例がある。体験学習において事故発生時の対応は明確にされているだろうか。3 患者さんが病院を受診したこと自体、個人情報として扱われる場合もある。中学生にどこまで見学・体験させるか事前に考えておく必要がある。

(山見 信夫)

### 西 諸 医 師 会

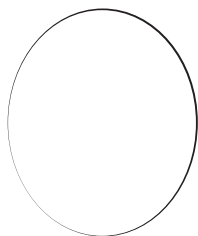
全国で火山噴火が起きております。霧島連山でも新燃岳に続き、えびの高原の硫黄岳でも活動性が高くなり、一時立ち入り規制、避難所の整備が行われましたが、現在は落ち着き、行楽客も増えにぎわいも戻っております。西諸医師会では、先の新燃岳噴火、東日本大震災の後に、西諸 2市 1町と、“災害時における医療救護に関する協定”を結び、医療救護の派遣、連絡体制など活動計画をたて災害に備えております。

(立山 洋司)

宮崎大学医学部医師会の執筆者からの依頼により以下のように訂正いたします。

日州医事 9月号 22ページの上から 3行目「第 1 外科(消化器)」としていましたが、正しくは「第 1 外科(消化管、肝・胆・膵、乳腺・内分泌、小児外科)」でした。お詫びして訂正いたします。

## メディアの目



## 高校野球 100 年 その歴史が面白い！

M R T 宮崎放送 報道部長

ま のぼり  
馬 登 貴

ソフトボールをしている小学校 4 年の長男が、夏休みの自由研究で「甲子園新聞」を書きたいと言ってきた。ということで甲子園の本を 2 冊買ってもらったのだが、一緒に読んでみるとこれが実に面白い。

今年は、夏の甲子園大会の前身「全国中学野球大会」が始まって 100 年の節目の年。第一次世界大戦真っ只中に野球の全国大会が始まったというのだから驚きだ。記念すべき第 1 回大会を制したのは京都二中（現・鳥羽高校）。それから 100 年...最も優勝回数が多いのは愛知の中京大中京（旧中京商）の 7 回、2 位は広島商の 6 回、3 位は愛媛の松山商と大阪の PL 学園の 4 回。過去 100 年の歴史の中で 2 回以上優勝したチームはわずか 16 校しかないそうだ。

ちなみに都道府県別にみると、優勝回数のもっとも多いのは大阪の 12 回、2 位が愛知の 8 回と続き、3 位の 7 回で兵庫、東京、和歌山、広島が並んでいる。宮崎を含む 20 県は一度も優勝経験がない。

それでは宮崎の高校野球は弱いのか？いやいやそんなことはない。甲子園での都道府県別勝利数をみると、1 位・東京の 168 勝と 2 位・大阪の 162 勝は別格だが、宮崎は 49 勝で 32 位につけ、長崎や佐賀より上位である。記憶に新しいが、おとしには延岡学園が県勢初の準優勝に輝き、悲願の甲子園優勝まであと一歩と迫った。宮崎のチームもいつか優勝を勝ち取ってくれるはずである。

さて今年、高校野球 100 年の記念大会を制したのは神奈川の東海大相模。準優勝した仙台育英は東北勢初の優勝を目指したが一歩及ばなかった。1915 年の第 1 回大会で秋田中（現・秋田高校）が準優勝して以来、東北勢は 7 回決勝に進んだがすべて敗れているようだ。

宮崎代表の宮崎日大は残念ながら初戦敗退に終わった。もうすぐ来春のセンバツ甲子園出場をかけた県予選と九州大会。すでに新たな戦いが始まっている。ガンバレ！宮崎の高校球児たち。



## あなたできますか？

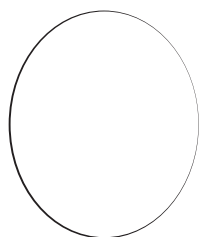
— 平成 26 年度 医師国家試験問題より —

( 解答は 52 ページ )

- 1 . 我が国の感染症対策において発生数の全数把握を行っているのはどれか。
  - a 結核
  - b 手足口病
  - c 突発性発疹
  - d インフルエンザ
  - e ヘルパンギーナ
- 2 . 経口摂取ができない高齢者の栄養管理について正しいのはどれか。
  - a 経鼻胃管からは水分投与を行わない。
  - b 経管栄養開始時は徐々に投与量を増やす。
  - c 静脈栄養療法時には口腔ケアは不要である。
  - d 静脈栄養療法時には脂肪製剤を使用しない。
  - e 経管栄養開始後は嚥下機能評価を行わない。
- 3 . 高齢者総合機能評価 ( CGA ) に含まれない内容はどれか。
  - a 意欲
  - b 認知機能
  - c 手段的日常生活動作 ( IADL )
  - d バイタルサイン
  - e 日常生活動作 ( ADL )
  - f 情緒と気分
- 4 . 正常な腎の機能について正しいのはどれか。  
2 選べ。
  - a 心拍出量の約 5 % の血液量が腎臓に供給される。
  - b 1 日に約 14L の原尿が生成される。
  - c アミノ酸は近位尿細管で再吸収される。
  - d ブドウ糖はHenle係蹄で再吸収される。
  - e 尿濃縮は主に髄質部集合管で行われる。
- 5 . 2 歳の女性。両眼痛と流涙とを主訴に来院した。昨晚、ハードコンタクトレンズを装用したまま就寝し、午前 4 時ころコンタクトレンズを外した。その直後から強い眼痛が生じたため家族に付き添われて受診した。  
まず行うべき検査はどれか。
  - a 角膜知覚検査
  - b 涙液分泌検査
  - c 角膜曲率測定
  - d 角膜擦過培養検査
  - e フルオレセイン染色検査
- 6 . 介護支援専門員 ( ケアマネジャー ) について正しいのはどれか。
  - a 資格試験はない。
  - b 入浴介助を行う。
  - c 関係機関との連絡調整を行う。
  - d 医師の指示でケアプランを作成する。
  - e 週 1 回、利用者を訪問する必要がある。
- 7 . 最近 5 年間ににおける精神障害者の医療の実態について正しいのはどれか。
  - a 精神病床の平均在院日数は約 90 日である。
  - b 精神病床数は人口千人当たり約 1 床である。
  - c 精神病床入院患者は 65 歳以上が約半数を占める。
  - d 精神病床入院患者は統合失調症より認知症が多い。
  - e 精神科外来患者は気分障害より統合失調症が多い。
- 8 . 疾患と学校保健安全法による出席停止期間の基準の組合せで正しいのはどれか。
 

|                     |                  |
|---------------------|------------------|
| a 水痘                | 解熱した後 2 日を経過するまで |
| b 風疹                | 解熱するまで           |
| c 麻疹                | 解熱した後 3 日を経過するまで |
| d 百日咳               | 出席停止の必要なし        |
| e 鳥インフルエンザ ( H5N1 ) | 特有の咳が消失するまで      |
- 9 . 我が国における安楽死について正しいのはどれか。
  - a 家族の許諾に基づいて実施できる。
  - b 安楽死の条件を定めた法律はない。
  - c リビングウィルに基づいて実施できる。
  - d 未成年者が対象であれば認められている。
  - e 実施に関するプロセス・ガイドラインがある。
- 10 . 我が国における喫煙について正しいのはどれか。
  - a 喫煙率は 50 % を超える。
  - b 禁煙の薬物治療に医療保険が適用される。
  - c 喫煙指数は 1 日の喫煙本数 × 年齢である。
  - d 受動喫煙によって肺癌の発生は変化しない。
  - e ニコチンはたばこに含有される発癌物質である。

## 宮崎大学医学部だより

内科学講座  
- 消化器血液学分野 -しもだ かずや  
下田 和哉 教授

第二内科は、講座名が内科学講座消化器血液学分野となり、2006年10月に第3代教授として赴任された下田和哉教授を筆頭に、消化器疾患(消化管・肝臓)、血液・腫瘍疾患の診療及び教育にあたっております。同時に肝疾患センター、がん

診療部における診療に携わっています。現医局員は学内28名、関連病院出張者23名、国内留学生7名の構成で、合計58名です。

消化器グループは、永田賢治准教授をチーフに、消化管疾患を山本、田原、三池、安倍、山路、橋本、前村、坂口、竹田、野田、平田が、肝臓疾患を蓮池、末田、岩切、中村、土持、山田が担当しております。

内視鏡検査は週3日行っており、検査件数は年々増加しています。また食道静脈瘤破裂や胃潰瘍出血などの消化管出血の症例には、グループ全体で緊急内視鏡検査、止血術に取り組んでいます。

肝臓疾患では昨年よりC型肝炎ウイルスに対するインターフェロン(IFN)フリーの治療が開始され、これまでのIFN治療が無効であった患者さんや副作用で治療を受けられなかった患者さんでもウイルスを完全排除できる可能性が高くなり、多くの先生と連携しながら抗ウイルス療法を行っております。肝疾患センターは昨年度より厚生労働科研肝炎等克服政策研究事業に参加し、効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築を研究しています。また、宮崎県健康増進課と協力して宮崎県肝炎コーディネーター講習会を開催し、肝炎コーディネーターの養成、キャリアアップを図っています。

消化管領域は、クローン病や潰瘍性大腸炎、腸管ペーチェット病などの炎症性腸疾患(IBD)の診療、早期消化管がんに対する内視鏡治療、消化器悪性疾患の化学療法を3本柱に診療にあたっていますが、なかでも膵がん、大腸がんなどの消化器悪性腫瘍の化学療法例が著増しております。小腸疾患も多く、ダブルバルーン内視鏡やカプセル内視鏡に力を入れています。内視鏡治療では食道がんや大腸がんといった高度の内視鏡技術を要する症例が多く、また抗血小板剤内服続行下での内視鏡治療の多施設共同研究も行っております。IBDに対しても、患者教育や多数の臨床研究を行っております。

消化器グループの多くが消化器病学会、消化器内視鏡学会、肝臓学会、大腸肛門病学会、消化管学会などの専門医や指導医を取得しています。最近、日本消化器病学会九州支部例会および日本大腸検査学会九州支部会を当教室で主催させていただきました。

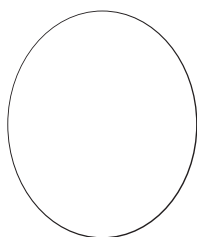
血液・腫瘍グループは、北中明准教授を中心に、久富木、日高、幣、亀田、関根、上運天、秋月が担当しています。最近は造血幹細胞移植症例が増えてきました。また、県内の各施設と連携し、統一した治療方針を策定し、施設間の情報交換を密に行い、治療レベルの均てん化を図っています。

研究面では、消化器、血液疾患の臨床研究に加え、骨髄増殖性腫瘍、ATL、IBDの基礎的研究を行っています。

以前は入局者も少なく、関係各位にご心配をおかけしましたが、少しずつ医局員も増え、より増して賑やかな雰囲気になってきました。第二内科は、診療の質を高め、地域医療へ貢献していくことを主眼に、またそれと併行して、臨床研究、学会活動も行っていくことを目標としております。まだまだ若輩の第二内科ですが、皆さまのご期待に添えられるよう変貌を遂げる所存です。至らぬ点などございましたらご指導いただけましたら幸いです。今後ともよろしく

お願い申し上げます。(医局長 山本 章二郎)

## 専門分科医会だより (小児科医会)



み や け か ず あ き  
三宅 和昭 会長

産婦人科医と共に小児科医の減少が巷間に伝えられて以降、雌伏の時を経てここにきてようやく県内の会員数が3桁の大台に乗りました。と言っても、勤務医の増加がメインで、開業小児科医の世代交代は遅々と

して進んでいない現状は、未だ懸念材料を内包していると言わざるを得ません。

元県小児科医会長の高木秀明先生・県北の夜間救急医療に多大な足跡を残された又木平八郎先生を失って、宮崎県の小児医療も少しずつ変化の動きを見せ始めています。延岡市では、新たに病院小児科医が2人増えました。この動きが、全県下で加速されることを、密かに願っているところです。

県小児科医会では、宮崎県のこども達の健やかな成長を願って、各医療圏での夜間救急診療ならびに休日診療を、分担して担ってきました。加えて、広域予防接種・小児救急医療電話相談事業(いわゆる#8000番)・幼稚園&保育園での訪問救急救室事業(いわゆる出前講座)などの、県の事業に協力してきました。

9月に入って、衝撃が走りました。国立感染症研究所のHP上にアップされた、平成26年度麻疹風しん期接種率調査において、宮崎県が全国最下位と報告されておりました。こんな不名誉な記録が、全国発信されてしまったのです。

県内の1歳児のすべてを小児科医だけが診ているわけではありません。1歳児に関わる全ての先生方!この汚名を返上し、この国において麻疹も風しんも流行させないために、機会

あるごとに接種勧奨を、よろしくお願いいたします。

県小児科医会では、会員のスキルアップのために、年2回の学術集会を開催しております。昨年秋は台風襲来のために開催を断念しましたが、今年4月には、フェニックス自然動物園の出口智久園長に「動物の子育て」を、宮崎大学公衆衛生学教室の黒田嘉紀教授には今後十数年に亘って追跡調査が行われる「エコチル調査」の壮大な計画について、詳細な説明をしていただきました。

この秋の学術集会は、9月2日に県医師会館にて開催し、宮崎大学皮膚科の堀川永子先生に最新のレーザー治療の話をしていただきました。もう1題の特別講演では、かつて一緒に仕事をしたことのある、本県出身自治医大卒の小児科医山元香代子先生に、アフリカ・ザンビアでの僻地医療活動の報告していただきました。

彼女の活動を支える、「NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会」が、幅広い支援を求めています。この一文が皆さんの目に留まり、さらなる支援の輪が広がることを、祈っております。

平成27年度の宮崎県小児科医会の役員は、以下の通りです。

|     |                                                                                 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------|
| 会 長 | 三宅 和昭                                                                           |
| 副会長 | 高山 修二, 高村 一志                                                                    |
| 幹 事 | 糸数 智美, 上野 満, 沖 美和, 川口 健二, 先成 英一, 田代慎二郎, 津曲 俊郎, 中谷 圭吾, 宝珠山厚生, 盛武 浩, 山内 良澄, 山崎 俊輔 |
| 監 事 | 千阪 治夫                                                                           |

(三宅 和昭)

## 「新春随想」原稿募集

平成 28 年 1, 2 月号に恒例になりました「新春随想」欄を企画いたしました。  
この欄は大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

題 材 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等なんでも結構です。  
本文に関連した写真・イラスト等( 1 枚程度, カラー印刷はできません )  
も掲載できます。

字 数 800 字以内( 字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがあり  
ますのでご了承ください )

締 切 平成 27 年 12 月 10 日(木)

宛 先 宮崎県医師会広報委員会

原稿には「新春随想」と明記してください。

掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。

掲載はお一人、1 編とさせていただきます。

ご投稿の原稿が他紙に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせくだ  
さい。

原則として、原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨  
ご指示ください。

日州医事は、会員以外( マスコミ・行政・図書館等 )にも配付しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテ  
キスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス( genko  
@m iyazaki.m ed.or.jp )宛にお送りください。もちろん、それ以  
外の方法( FAX, 郵便等 )でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E m ail:genko@m iyazaki.m ed.or.jp

〒 880 - 0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

FAX 0985 - 27 - 6550 TEL 0985 - 22 - 5118

原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」  
である旨とタイトル、ご氏名を明記の上お送りください。

## 薬事情報センターだより ( 341)

## 新薬紹介( その 81)

今回は 8 月に薬価収載された抗ウイルス剤ハーボニー配合錠( 一般名: レジパスビル, ソホスブビル)と免疫調整剤プラケニル錠 200mg( 一般名: ヒドロキシクロロキン硫酸塩)について紹介いたします。

ハーボニー配合錠( 一般名: レジパスビル, ソホスブビル)

ハーボニー配合錠は, 米国 Gilead Sciences, Inc. 社が開発した, レジパスビル 90mg 及びソホスブビル 400mg を含有する固定用量配合錠です。レジパスビルは, *in vitro* 耐性発現試験及び交差耐性試験の結果から, C 型肝炎ウイルス(HCV)の複製及び HCV 粒子の形成に必須である非構造タンパク質(NS)5A を標的とする HCV 阻害剤であると考えられ, *in vitro* では特に HCV ジェノタイプ 1a 及び 1b に対する強力な阻害作用を示すほか, 他の HCV ジェノタイプに対しても阻害作用を示します。ソホスブビルは, 活性代謝物であるウリジン三リン酸体が, HCV の複製に必須である HCV 非構造タンパク質 5B(NS5B)RNA 依存性 RNA ポリメラーゼを阻害することで, *in vitro* で広範なジェノタイプに対する阻害作用を示します。ハーボニー配合錠は 1 日 1 回 1 錠, 12 週間の経口投与で治療を完了することができ, 患者にとって, 簡便かつ有効な治療選択肢となることが期待されます。

本剤は, 「セログループ 1(ジェノタイプ 1)の C 型慢性肝炎又は C 型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善」を効能・効果として, 2015 年 7 月に製造販売承認され, 9 月にギリアド・サイエンシズ株式会社から発売されました。なお, 2015 年 2 月 25 日現在, 米国, EU 加盟国等世界 34 か国で承認されています。

ジェノタイプ 1 の C 型慢性肝炎患者又は C 型代償性肝硬変患者を対象に本剤の単独投与における有効性及び安全性を評価した国内第 3 相臨床試験において, 157 例中 34 例( 21.7% )に副作用が認められました。主な副作用は, そう痒症 5 例( 3.2% ), 悪心及び口内炎各 4 例( 2.5% )等でした( 承認時 )。

プラケニル錠 200mg( 一般名: ヒドロキシクロロキン硫酸塩)

ヒドロキシクロロキン(HCQ)は, 抗炎症作用, 免疫調整作用, 抗マラリア作用等多岐にわたる作用を有する薬剤です。HCQ はクロロキンとともに, 皮膚エリテマトーデス(CLE)及び全身性エリテマトーデス(SLE)に対して海外では標準的治療薬と位置付けられており, 標準的な教科書や治療ガイドラインで第一選択薬として推奨されています。しかし, 本邦では, 過去にクロロキンで高用量の服用など適切でない使用によりクロロキン網膜症問題が起きて以降, クロロキンは使用されなくなるとともに HCQ も国内での開発が行われてきませんでした。2010 年に医療上の必要性の高い未承認薬として厚生労働省より本剤の開発要請がされ, 2012 年 3 月より活動性皮膚病変を有する CLE と診断された日本人患者(SLE 合併患者を含む)を対象に臨床開発試験が実施されました。

本剤は, 国内第 1 相臨床試験の結果等から, 「皮膚エリテマトーデス, 全身性エリテマトーデス」を効能・効果として, 2015 年 7 月に製造販売承認され, 9 月にサノフィ株式会社から発売されました。なお, 本剤は, 1 日平均投与量として 6.5mg/kg(理想体重)を超えると網膜障害を含む眼障害の発現リスクが高くなることが報告されていることから, 患者の身長から算出される理想体重によって投与量が定められています。

国内臨床試験において本剤を投与された 101 例中 31 例( 30.7% )に副作用( 臨床検査値異常を含む)が認められました。主な副作用は下痢 10 例( 9.9% ), 頭痛, 中毒性皮疹および蜂巣炎各 3 例( 3.0% )等でした( 承認時 )。また, 重大な副作用として, 眼障害( 網膜症, 黄斑症, 黄斑変性 ), 中毒性表皮壊死融解症(TEN), 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群), 多形紅斑, 紅皮症( 剥脱性皮膚炎 ), 薬剤性過敏症症候群, 急性汎発性発疹性膿疱症, 骨髄抑制( 血小板減少症, 無顆粒球症, 白血球減少症, 再生不良性貧血 ), 心筋症, ミオパチー, ニューロミオパチー, 低血糖が報告されています。

## 参考資料

ハーボニー配合錠, プラケニル錠 200mg 各添付文書・インタビューフォーム  
( 宮崎県薬剤師会薬事情報センター

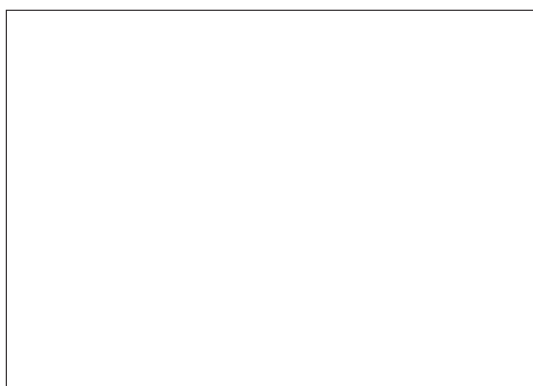
永井 克史)

## 平成 27 年度九州学校検診協議会第 1 回専門委員会

と き 平成 27 年 8 月 1 日(土)

ところ ホテルニュー長崎

- 1 心臓部門 座長：吉永 正夫  
( 鹿児島県医師会学校保健委員会委員 )



### 提案事項

- 1 ) 九州各県における学校管理下の心臓性突然死( 平成 26 年度 )について( 福岡県 )

学校管理下の心臓性突然死について、日本スポーツ振興センターの情報提供資料が示され、平成 26 年度は鹿児島県の 1 例であった。25 年度の未報告例を含め 2 例の状況報告があった。

- 2 ) 心臓検診時の統一病名( 平成 26 年度 )について( 九州各県 )

九州各県の 1 次・2 次・3 次検診の受診者数等について検討した。その中で 1 次からの抽出率等を検討したが、地域毎に検診の方法が異なるため、データのまとめ方が統一されておらず、次回再度検討することになった。

- 3 ) 児童生徒の心肺蘇生事例調査( 対象期間 H 26.1.1~ H 26.12.31 )について( 九州各県 )  
2 年前から 20 歳未満の心肺蘇生事例を消防

機関や学校等から報告をしていただいている。平成 24 年は 42 例、25 年は 76 名、26 年は 151 例と報告数が増えているが、消防機関の協力が得られていない県やあまり報告が上がっていない県があるため今後の検討が必要である。調査報告の中で心疾患が原因とみられる事例について各県から報告が行われた。

- 4 ) 左脚前枝ブロック[ 7-7-0:( A ) ]について  
( 福岡県 )

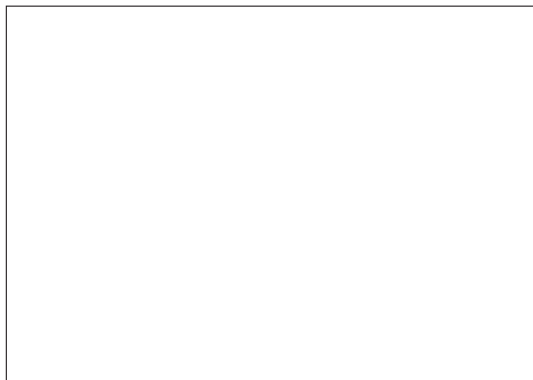
福岡県から次のような提案理由の説明があった。

福岡県では、平成 24 年度に省略 4 誘導から 12 誘導に移行しており、左脚前枝ブロックの抽出数が 5 ~ 10 倍に増加している。A 群のため、精密検査対象としているが、本当に精密検査の対象とする必要があるのだろうか。実際に精密検査を受診した生徒の結果を見ると、ほとんどが管理不要であった。各県では左脚前枝ブロックにどのように対応されているかお伺いしたい。

左脚前枝ブロックは、A ~ C まである基準の中で A 基準となっており、A 基準は必ず管理をしないといけないことになっている。委員からは A 基準にする必要がないとの意見が多く、変更するにはガイドラインを変える必要があるため、日本小児循環器学会と交渉をしていくことになった。

出席者 - 高村常任理事、高木学校医部会理事、  
久永課長

2 腎臓部門 座長：服部 新三郎  
( 熊本県医師会学校検診委員会委員 )



提案事項

1 ) 学校検尿( 蛋白 , 潜血 )の判定基準について  
( 熊本県 )

平成 27年の本委員会で九州各県にご報告いただいた際には、マニュアルに示された( +)で 100%実施されているのは、宮崎県、長崎県、沖縄県の 3 県であった。その後、数年経過したが、各県の状況( 全受診者の何%が( +)で実施されているか )を再度ご報告いただきたいとの提案に対し、鹿児島県が今年度から県内全ての地域を統一した基準で判定する判定委員会を立ち上げ、100%実施されていることが報告された。

2 ) 私立学校への学校検尿結果開示請求について( 福岡県 )

具体的な開示項目を明らかにして開示を請求する方向で議論を重ねてきたが、昨年 12月の第 2 回専門委員会でも最終的な文面には落ち着いていないため、各県がその後開示請求を行ったかどうかお聞きしたいとの提案に対し、正式な開示請求はできていない県が多数であった。検尿結果のまとめ方とも関連するため具体的内容の協議は保留となった。

3 ) 検尿結果のまとめ方について ( 福岡県 )  
昨年 12月の第 2 回専門委員会では、有所見

者を「血尿単独陽性者」「蛋白尿単独陽性者」「血尿 + 蛋白尿陽性者」に分類した方がいいという案があったが、今年そのような形でデータを取りまとめた県があるかお聞きしたいとの提案に対し、熊本県では分類して集計、その他の県ではシステム上、分類が難しい県もあり、今年では従来どおり分類なしで集計を行っていることが報告された。

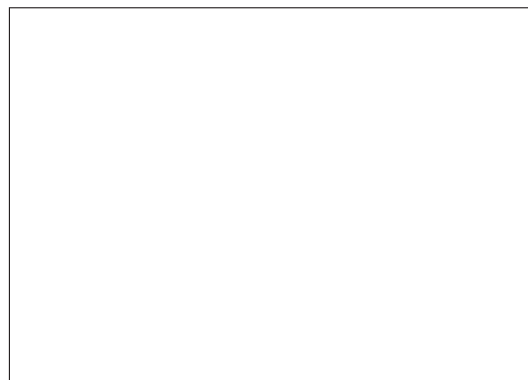
また、集計表に二次検尿欄を追加すること、三次検尿の臨床診断の項目に CAKUTを追加することが決定した。

4 ) 平成 26年度腎臓検診結果の集計結果について( 九州各県 )

福岡県から九州各県の集計結果が報告されるとともに、診断名の正誤表の追加分が示された。

出席者 - 宮田学校医部会理事、野尻課長補佐

3 小児生活習慣病部門 座長：田崎 考  
( 九州学校検診協議会専門委員 )



提案事項

1 ) 平成 26年度九州地区尿糖陽性者群集計結果のまとめについて( 佐賀県 )

平成 26年度九州地区の尿糖陽性者の比率は 0.08%と、一昨年より若干減少はしているが、良否については検討が必要である旨報告があった。

2) 小児生活習慣病予防健診の普及のための大分県の進捗状況について(大分県)

小児生活習慣病予防健診のフローチャート(案)や、各郡市医師会・市町村教育委員会との協議について報告があった。

学校側が懸念している個人情報については、様々な局面で問題となっていることから、九州学校検診協議会全体で協議していく必要性が挙げられた。

3) 小児生活習慣病予防健診の今年度の動向(活動状況)と今後の取組みについて(佐賀県)

先行している大分市、北九州市、福岡市の他、動きが出てきた市町村もあるが、地域差が著しく、全体としての進展はない状況である。その要因として、教育現場での生徒への受診勧奨や検診後の指導の難しさがあり、教育委員会との協議が続いているという報告に対し、今後は、部門ごとではなく、より効力のある九州学校検診協議会として教育委員会へ要望を出していくことが提案された。

出席者 - 澤田学校医部会学校検診委員，  
畠中主事

## お知らせ

### クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成 27 年 5 月 1 日より平成 27 年 10 月 31 日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

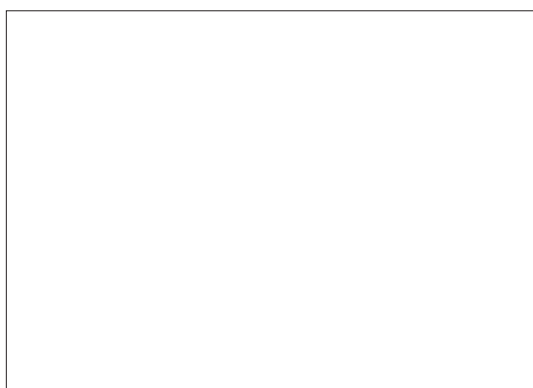
会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 第 59回九州ブロック学校保健・学校医大会 平成 27年度九州学校検診協議会( 年次大会 )

と き 平成 27年 8月 1日(土)～ 2日(日)

ところ ホテルニュー長崎( 長崎市 )

メインテーマ 「子どものいのちを守り すこやかに育む環境づくりのために」



8月 1日, 2日に長崎市において九州ブロック学校保健・学校医大会ほか関連行事が開催された。

2日午前開催された平成 27年度九州学校検診協議会では, 心臓・腎臓・小児生活習慣病の部門ごとに教育講演が行われた。心臓部門では「成人期医療から見た小児期先天性心疾患医療 - 移行期医療を含めて - 」と題し, 東京大学保健・健康推進本部講師八尾厚史先生, 腎臓部門では「せっかく見つかった検尿異常を日常診療に活かすために」と題し, 長崎大学病院小児科助教白川利彦先生, 小児生活習慣病部門では「学校検尿で発見される小児糖尿病」と題し, 日本大学医学部小児科教授浦上達彦先生による講演が行われた。

同日午前開催された眼科・耳鼻咽喉科・運動器の各分科会において, 眼科部門では, 「学校における色覚異常児への対応について」と題し, 諫早総合病院眼科医長鬼塚尚子先生。「カラーコンタクトレンズによる眼障害」と題し, 長崎大学

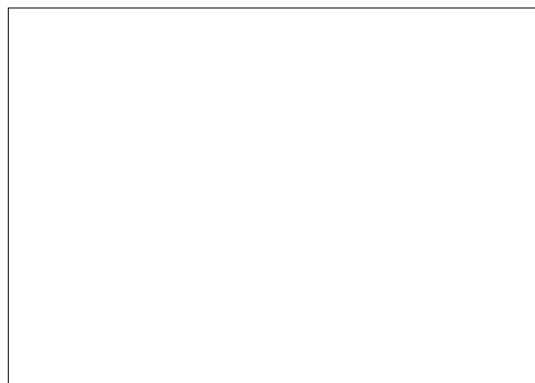
病院眼科講師上松聖典先生。耳鼻咽喉科部門では「補聴器・人工内耳の進歩と難聴児の教育～人工内耳手術 400症例と学校訪問 140校の経験から～」と題し, 耳鼻咽喉科神田 E・N・T 医院院長神田幸彦先生。「小児滲出性中耳炎の年齢による治療方針」と題し, 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学教授高橋晴雄先生。運動器部門では, 「成長期のスポーツ傷害・腰のいたみ～腰椎新鮮分離症( 椎弓疲労骨折)～」と題し, 菅整形外科病院院長宮崎昌利先生。「成長期のスポーツ傷害・膝の傷害～オスグッド病から前十字靱帯断裂まで～」と題し, 長崎大学病院整形外科講師米倉暁彦先生による講演が行われた。

午後は九州医師会連合会学校医総会が開催された。次期開催県の福田熊本県医師会会長から, 第 60回大会は, 平成 28年 8月 6日(土)～ 7日(日)にホテル日航熊本( 熊本市 )において開催されることが発表された。その後, 第 59回九州ブロック学校保健・学校医大会基調講演があった。はじめに「子どもを育む～更なる機関協働に向けて～」と題し, 長崎短期大学保育学科長・教授川原ゆかり先生による講演があり, ネグレクトによる子どもの死亡事件や, 児童相談所での児童虐待解決の事案等が紹介され, 関係機関との連携・協働が子どもの福祉を守るための課題であると述べられた。次に「ネット・スマホ社会の子ども達～小児科医と考えるメディアリテラシー～」と題し, 国立病院機構九州医療センター小児科医長・周産期センター長佐藤和夫先生の講演が行われ, 中高生に急増するネットいじめやネット

依存の問題，電子メディアが及ぼす乳幼児への発達や健康への影響についての具体的な事例が

紹介され，親子でメディアリテラシーを身につけることの重要性について述べられた。

## 平成 27 年度九州学校検診協議会幹事会



九州医師会連合会の蒔本会長，九州学校検診協議会の松田会長の挨拶の後，慣例により，松田会長が座長に選出され，協議に入った。

### 連絡協議事項

#### 1) 平成 27 年度九州学校検診協議会の事業報告並びに決算について

福岡県より事業報告並びに決算について報告があった。

#### 2) 平成 27 年度九州学校検診協議会の事業計画並びに予算について

福岡県より事業計画並びに予算について説明があった。平成 27 年度も専門委員会を 2 回開催すること，各県の分担金を含めた予算案も含め全会一致で承認された。

#### 3) 平成 27 年度(第 34 回)九州学校検診協議会第 1 回専門委員会について

先に行われた各専門委員会別協議事項について心臓・腎臓・小児生活習慣病の部門ごとに報告が行われた。

出席者—河野会長，富田副会長，高村常任理事，高木・宮田学校医部会理事，澤田学校医部会学校検診委員，山内事務局長，久永課長，野尻課長補佐，畠中主事

## 九州各県医師会学校保健担当理事者会 (日本医師会学校保健担当理事との懇談会)

蒔本長崎県医師会長，道永日医常任理事の挨拶の後，慣例により，蒔本会長が座長に選出され協議に入った。

### 協 議

#### 1) 教職員の健康管理について(沖縄県)

県立学校では産業医が選任され，教職員の健康に留意しているが，市町村立学校では，職員が 50 人に満たず，選任の義務のない学校が多いと思われる。多くの場合，学校医に教職員の健康管理に関する相談が来ていると考える。沖縄県は全国に比較して教職員の健康管理メンタルヘルス障害が多いと報告され

ており，九州各県での取組みについてお伺いし，今後の参考にしたいとの提案理由が説明された。

日本医師会からは，教職員の健康管理は非常に大事である。公務員は職員数が 50 人未満の場合でもストレスチェックをするよう総務省通達が出ている。努力義務であるので各県医師会からも教育委員会にストレスチェック実施について働きかけてもらうとともに，学校医にも認定産業医の資格を取っていただきたいと述べられた。

## 2) 運動器検診に関するモデル事業について

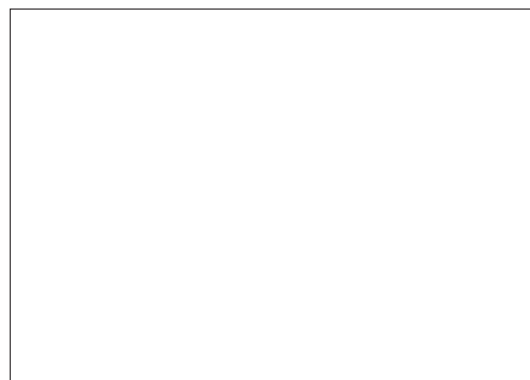
(福岡県)

平成 28年 4 月より運動器検診が開始される旨、文部科学省より通達があっているが、具体的な指針や内容については明らかになっていない。そこで、福岡県教育委員会と運動器の専門医の協力のもと、問診票を作成し、問診票に重点をおいたモデル事業を行ったので各県のご意見を伺いたいとの提案理由が説明された。

福岡県から資料に基づきモデル事業の説明があった。日本医師会からは、日本学校保健会が作成中の学校検診マニュアルは 8 月末にできあがり、秋に各学校に配付される予定である。運動器検診を学校医が全て行うというのは不可能であることを前提に、保健調査票の項目を増やし、細かい問診票をつけ、学校検診の前に家庭はもちろん、保健体育教員、養護教諭、担任の観察情報を得たうえでピックアップし、学校医が診ることになる。必要であれば整形外科専門医を紹介することになる。日本臨床整形外科学会では、整形外科医用の運動器検診マニュアルも作っているところである。また、通常、学校検診は 6 月末までの実施となっているが、運動器検診は期日を定めないという方向で考えているとのことであった。

## 3) 運動器検診(四肢の状態)必須化への対応について(鹿児島県)

平成 28年 4 月より、学校保健安全法の施行規則の一部改正に伴い、運動器検診が必須項目に追加となる。日医学校保健講習会では、学校医・教職員等に対して整形外科医等の専門家による研修を行うこと、検診で異常が発見された際、専門医療機関への紹介やフォローアップに関する体制作りが課題として提示されたが、実施体制等について各県の検討状況ならびに日本医師会の見解を伺いたいとの提案理由が説明された。



各県からは学校医(内科医)が運動器検診を実施することは困難との意見があった。日本医師会は、現場の意見を伺い学校が校医以外に専門医を呼べるような体制作りについて働きかけていきたいと述べられた。

## 4) 学校における心の問題に関する精神科医との連携について(鹿児島県)

本県では、8 月 8 日(土)鹿児島県医師会館において、「虐待・いじめ・心の問題へのアプローチ」をテーマに、様々な角度からアプローチを実施するため、母子保健、学校保健、精神保健研修会を開催する。学校における心の問題は、学校医だけでなく、精神科医との連携も必須になってくると考えられるが、各県の現状をお教えいただきたいとの提案理由が説明された。

沖縄県では県の委託を受け中学生向け副読本「こころのタネ」等を作成・配付していることが報告された。日本医師会は、以前、文科省の委託事業で精神科医等の派遣事業があり好評であった。日医学校保健委員会の、子どもの健康を守るための連携として、医師会が中心になって学校に専門医を派遣できるようなシステムを作っていきたいとのことであった。

## 中央情勢報告

道永日医常任理事から中央情勢報告があった。

学校保健安全施行規則の一部改正について、

第 6 条の検査項目で座高が削除，四肢の状態が加わり，寄生虫の有無が削除になった。11 条の保健調査では小学校・中学校では全学年で実施することとなった。

児童生徒の健康診断マニュアルが改訂されることとなり，今年 10 月 21 日(水)に学校保健担当理事連絡協議会を開催し説明の予定である。

平成 28 年度政府概算要求として文科省に対し，学校保健総合支援事業，がんの教育総合支援事業，アレルギー対策の充実，ネット依存防止対策，いじめ防止のための健康教育について要望を行った。

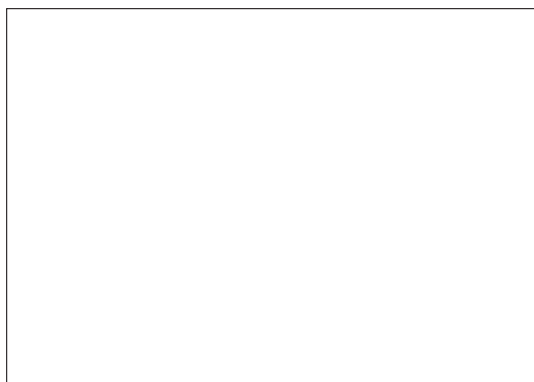
文科省の外局として今年 10 月にスポーツ庁が新たに設置される。健康寿命延伸，地域社会活性化，国際交流，経済発展の 4 つの視点

からスポーツ行政を総合的に推進することとなる。これまで学校保健体育分野は文科省のスポーツ・青少年局が所管していたが，10 月以降は学校保健分野は初等中等教育局へ移行し，その他のスポーツ分野はスポーツ庁へ移行となる。

日医学校保健委員会では，学校医の位置づけを明確化すること，地域事情に応じた仕組みづくりをすることについて更なる検討を行ったことについて報告があった。

出席者—河野会長，富田副会長，高村常任理事，  
山内事務局長，久永課長，  
野尻課長補佐，畠中主事

## 平成 27 年度九州医師会連合会学校医会評議員会



蒔本長崎県医師会長の挨拶の後，蒔本会長が議長に選出され議事が進行された。

### 報 告

- 1 平成 26 年度九州医師会連合会学校医会事業について( 宮崎県 )
- 2 平成 26 年度九州医師会連合会学校医会歳入歳出決算について( 宮崎県 )  
宮崎県より資料に基づき報告を行い，ともに承認された。
- 3 平成 27 年度九州医師会連合会学校医会事業経過について( 長崎県 )  
長崎県より資料に基づき報告があった。

### 議 事

第 1 号議案 平成 27 年度九州医師会連合会学校医会事業計画に関する件( 沖縄県 )  
長崎県より説明があり，原案どおり承認された。

第 2 号議案 平成 27 年度九州医師会連合会学校医会負担金並びに歳入歳出予算に関する件( 沖縄県 )  
長崎県より負担金並びに予算案について説明があり，原案どおり承認された。

第 3 号議案 第 60 回・第 61 回九州ブロック学校保健・学校医大会開催担当県に関する件( 沖縄県 )

第 60 回( 平成 28 年度 )開催を熊本県担当で開催することが提案され，承認された。日程は，平成 28 年 8 月 6 日(土)～ 7 日(日)，熊本市のホテル日航熊本で開催予定。

出席者—河野会長，富田副会長，高村常任理事，  
山内事務局長，久永課長，  
野尻課長補佐，畠中主事

## 九州医師会連合会第 349回常任委員会

と き 平成 27年 8月 2日(土)

ところ ホテルニュー長崎

- 1 開 会
- 2 挨 拶  
九州医師会連合会会長挨拶  
( 蒔本長崎県医師会長 )
- 3 報 告  
1 ) 第 109回定例委員総会について( 長崎 )  
本常任委員会終了後に開催される、第 109回九州医師会連合会定例委員総会に以下の第 1号議案から第 7号議案が提案される旨の報告があり了承された。
- 2 ) その他
- 4 議 事  
第 1号議案 平成 26年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件  
第 2号議案 平成 27年度九州医師会連合会事業計画に関する件  
第 3号議案 平成 27年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件  
第 4号議案 平成 27年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

- 第 5号議案 平成 27年度九州医師会連合会監事( 2名 )の選定に関する件
- 第 6号議案 平成 27年度第 115回九州医師会医学学会事業計画に関する件
- 第 7号議案 平成 27年度第 115回九州医師会医学学会会費賦課に関する件
- 第 8号議案 次回第 116回( 平成 28年度 )九州医師会医学学会開催担当県の決定並びに次々回第 117回( 平成 29年度 )同学会開催担当県の内定に関する件

第 8号議案については、次回第 116回は、熊本県で決定、次々回第 117回は、福岡県で内定となった。

- 5 協 議
- 6 その他  
福岡県医師会「フェア」の開催について( 福岡 )  
平成 27年 10月 1日(土)の日程と開催内容の紹介が福岡県からあった。

出席者—河野会長、山内事務局長

## 第 109回九州医師会連合会定例委員総会

- 1 開 会
- 2 挨 拶  
1 ) 前九州医師会連合会長  
( 大分県医師会長新森副会長代理 )  
2 ) 九州医師会連合会長  
( 蒔本長崎県医師会長 )
- 3 来賓祝辞  
1 ) 日本医師会 今村定臣常任理事より情勢報告を兼ねて祝辞  
2 ) 参議院議員 羽生田俊氏、日本医師連盟 参与 自見はなこ氏の紹介
- 4 座長選出
- 5 報 告  
1 ) 第 349回常任委員会について  
第 1号議案から第 7号議案を本定例委員総会に提案することと平成 28年度九州医師会医学学会は佐賀県で開催すること、平成 29年度は福岡県で開催することが内定したことが報告された。

- 2 ) 平成 26年度九州医師会連合会庶務並びに事業報告について

- 6 議 事  
議案は、第 349回常任委員会の 1～7号議案に同じ

第 1号議案で富田副会長が会計監査報告  
第 1号議案から第 4号議案、第 6号及び第 7号議案については原案どおり報告了承された。

第 5号議案の平成 27年度の監事については、佐賀県の志田正典委員、熊本県の八木剛志委員が選定された。

- 7 その他  
福岡県より、九州ブロック認定産業医制度基盤・生涯研修会の開催時期について、平成 29年度から 4月開催にし、具体的日程については産業医科大と協議して決定することが報告された。

出席者—河野会長、山内事務局長

## 第 16 回宮崎県医師会医家芸術展

今回で第 16 回を迎えました医家芸術展は、8 月 12 日(水)から 16 日(日)まで県立美術館県民ギャラリーにて開催されました。55 名の医師会員及びご家族の方々より写真・書道・絵画の 3 部門に 134 点の応募をいただきました。出展者の方々に厚く御礼申し上げます。

世話人の押川紘一郎先生(写真)、山内励先生(書道)、藤木浩先生(絵画)には多大なご尽力をいただきました。深く感謝申し上げます。なお、作品の一部は作者のお許しを得て、日州医事の表紙を飾ることになっています。

猛暑の中にも拘らず、多くの医療機関がお盆休みということとマスコミからの取材による報道もあり、入場者は 5 日間開催の中では過去最多の 1,629 人を数えました。毎年の行事として定着していることが窺えスタッフ一同喜んでおります。

開催期間中の入場者数は以下のとおりです。

12 日(水) 212 人、13 日(木) 320 人、14 日(金) 334 人

15 日(土) 338 人、16 日(日) 425 人 5 日間計 1,629 人

来場者の方々より「すばらしい作品に感動した」との感想を多数いただきましたので、一部ですが紹介いたします。

○最初に秦喜八郎元会長が企画・提案された時は驚くと共にせいぜい続いて 5 年か?と期待していませんでした。新しい作家が続出し

て内容も良く、このまま永続するのではないかと嬉しく思います。世話をなさる先生をはじめ、全員で協力して初めてできる快挙です。更なる発展を祈ります。

○いままで書道の展覧会には入ったことがないのですが、今回入ったのをきっかけに、書道の作品を見るのが楽しく感じるようになりました。今後も機会があれば、書道の展覧会に行きたいと思います。本当にありがとうございました。

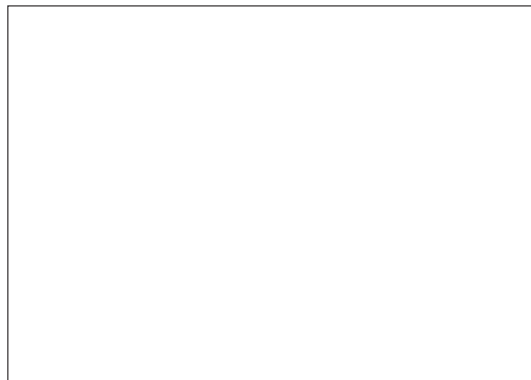
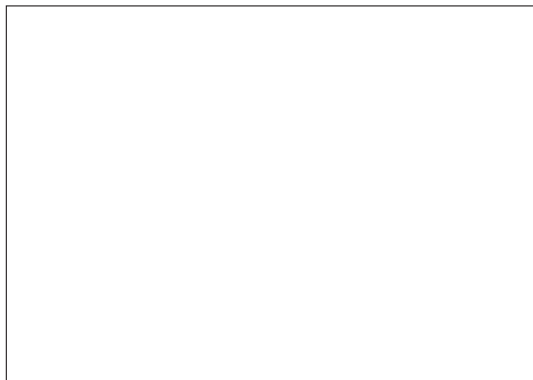
○みなさん絵画はレベルアップされています。写真はよいシャッターチャンスを見つけられています。着眼点も素晴らしいです。

○医家芸術展とは知らず、伺いました。全ての作品に素人とは思えないほどばかりです。ありがとうございました！感謝！

来年の医家芸術展は、平成 28 年 8 月 10 日(水)から 14 日(日)の 4 日間、県立美術館で開催する予定です(12 日(金)は休館日です)。会員及びご家族の皆様のお作品をお待ちいたしております。

たくさんのご出展をいただき、また多くの方にご来場いただいて今回も無事終了することができました。皆様の声を励みに今後ますますこの芸術展が発展していくことを念じております。

(濱田副会長、佐々木(究)理事、牧野課長、瀬戸山主事)



医療勤務環境改善センター

## 日医インターネットニュースから

### ■ 1 年の医療事故報告、過去最高の 3194 件 — 医療機能評価機構 —

日本医療機能評価機構は 8 月 27 日、2014 年( 1 月 ~ 12 月 )の医療事故情報収集等事業の年報を発表した。特定機能病院などの報告義務対象医療機関と、任意で参加する医療機関からの報告を合わせた 1 年の医療事故報告件数は、前年から 145 件増の 3194 件で過去最高を更新した。同機構の後任執行理事は、報告件数が増加したことについて「報告することが定着してきている」との見方を示した。

報告義務対象医療機関 27 施設からの医療事故報告は 2911 件。事故の概要別の内訳は、「療養上の世話」が 1119 件( 38.4% )で最も多く、「治療・処置」が 757 件( 26.0% )と続いた。療養上の世話では「転倒」613 件が最多。治療・処置では、「方法( 手技 )の誤り」が 125 件で多かった。

事故の程度別では、「障害残存の可能性なし」の 827 件( 28.4% )が最も多く、「障害残存の可能性がある( 低い )」の 819 件( 28.1% )、「障害なし」の 635 件( 21.8% )が続いた。「死亡」は 225 件( 7.7% )だった。

#### ● 任意参加の施設数増加も、報告数は減少

任意参加の医療機関数は 14 年末で 718 施設で、前年から 2 施設増加した。一方で、報告件数は 283 件で、前年から 58 件減少している。後任執行理事は「参加数に対して報告件数が少ない状況が続いている」と任意参加の施設からの報告数を増やすことを課題に挙げた上で「医療事故調査制度も始まるし、全体の報告件数も増えている。あらためて報告をお願いしていきたい」と述べた。

(平成 27 年 9 月 1 日)

### ■ 飲酒・喫煙 18 歳以上案に反対、撤回要請 — 横倉会長 —

横倉義武会長は 9 月 9 日、自民党で飲酒や喫煙を 18 歳以上から認める案が検討されたことについて強く反対する考えを表明した。会見で「飲酒、喫煙年齢の引き下げは認めることはできず、撤回を強く求めたい」と述べた。

今国会で改正公職選挙法が成立し、18、19 歳も次期参院選から投票できるようになったこと

に関連して、2 日の自民党の「成年年齢に関する特命委員会」で飲酒・喫煙の年齢も同様に引き下げる提言案が示された。

横倉会長は会見で、飲酒は開始年齢が低いほどアルコール依存症になる確率や記憶力への影響が強まると説明。アルコール健康障害対策基本法の施行を受けて、政府は現在、アルコール健康障害対策推進基本計画の策定に向けて検討を進めているが、横倉会長は「政府が目指す総合的で計画的なアルコール健康障害対策の推進と逆行している」と訴えた。

一方、喫煙は年齢を引き下げることが喫煙年数の増加につながり、将来の肺がん罹患率を高める可能性があることや、注意欠陥や認知症の早期発症の可能性を指摘したオランダの研究結果を紹介して、年齢引き下げの問題点に理解を求めた。

横倉会長は同日、自民党本部で稲田朋美政調会長に会い、日医が飲酒と喫煙年齢の引き下げに反対する考えを説明した。その上で「政府は日本再興戦略で国民の健康寿命の延伸を目指しているはず。青年期の飲酒や喫煙はその後の健康に大きく影響を及ぼす。国民の健康の維持、増進の視点からも断じて容認できない」と強調。今後の検討状況を注視しながら、必要に応じて日本医学会などと連携して対応する考えを示した。

(平成 27 年 9 月 11 日)

### ■ 退院許可でも自宅療養困難 24.3% — 14 年受療行動調査 —

厚生労働省が 9 月 8 日に発表した「2014 年度受療行動調査」の結果(概数)によると、入院患者の退院許可が出た場合の自宅療養の見通しとして「自宅療養できない」との回答が 24.3%、「自宅療養できる」が 55.3% だった。

病院の種類別に見ると、「自宅療養できる」の割合は特定機能病院が 74.1% で最も高く、「自宅療養できない」は療養病床がある病院が 36.6% で最高となった。自宅療養できないと回答した人に、自宅療養を可能にする条件(複数回答)を聞いたところ、「入浴や食事などの介護が受けられるサービス」40.6%、「家族の協力」35.4% といった回答が高かった。

調査は、医療施設を利用する患者に対するも

ので、医療行政の基礎資料を得るために 3 年ごとに実施。一般病院 488 施設を利用する患者約 19 万 5,000 人を対象に 10 月に調査を実施し、約 15 万 3,000 人から有効回答を得た。

●入院患者の満足度 66.7%，増加傾向

病院全体を「満足」していると回答した入院患者は 66.7% で、年次推移で見ると満足との回答は増加傾向にある。「不満」は 4.6%。項目別に満足度を見ると、満足度が高い順に「医師以外の病院スタッフの対応」69.3%，「医師による診療・治療内容」69.1%，「医師との対話」64.8% となった。

外来患者の病院に対する全体的な満足度は、「満足」57.9%，「不満」4.9% だった。年次推移では、満足との回答が 5 ～ 6 割程度で推移している。項目別に満足と回答した人の割合を見ると、「医師以外の病院スタッフの対応」58.3% や「医師との対話」55.8% など。一方、「診察までの待ち時間」では「満足」は 28.1% にとどまった。

(平成 27 年 9 月 11 日)

■「かかりつけ連携手帳」の活用を提案

— 日 医 —

石川広己常任理事は 9 月 9 日の定例会見で、地域包括ケアシステムにおける医療・介護連携において、冊子形式の「かかりつけ連携手帳」の様式を公表し、活用することを提案した。今年度から各市区町村で実施することになった在宅医療・介護連携推進事業でも活用してほしいとしている。

かかりつけ連携手帳は、日医、日本歯科医師会、日本薬剤師会が 2014 年から検討開始したもの。多くの地域で ICT を用いた地域医療連携や在宅ケア連携が進められている一方で、さまざまな理由で ICT を用いた連携を行うことが困難な地域もある。そのような地域においても、少しでも医療・介護連携を進めていくためにかかりつけ連携手帳を提唱している。将来的には電

子的 PH R (Personal Health Record) に発展させることを想定する。

かかりつけ医、かかりつけ薬局、かかりつけ歯科医、かかりつけケアマネジャー、かかりつけ訪問看護師、介護スタッフなどの情報共有が可能。基本項目のほか、オプションページを追加し、地域特性に合わせた手帳にすることもできる。

(平成 27 年 9 月 11 日)

■全国がん登録の項目などで省令公布

— 厚労省 —

厚生労働省は 9 月 9 日、来年 1 月施行の全国がん登録の大まかな項目などを定める省令を公布した。全国がん登録は、医療機関が所在する都道府県知事に患者情報を届け出ることが柱で、すべての病院と参加を希望する診療所が対象になる。

省令で規定する主な内容は、患者の住所 がんの発生が確定した日 がんの種類を区別するための事項 がんの進行度 がん発見の経緯 がんの治療の内容 がんの診断または治療を行った病院等—など。がんの種類を区別するために届け出る事項としては「原発部位」「細胞型または組織型」「性状」「異型度、分化度または表現型」を定めた。

●国立がん研、今月にもマニュアル公表へ

省令公布を受けて今後は、がん登録に関する各種マニュアルが公表される。マニュアルは、厚労省から委託を受けている国立がん研究センターが作成中で、今月中にも公表される見通し。

医療機関向けのマニュアルでは、届け出が必要な患者に関する解説や、届け出項目の一覧・概説、全国がん登録を担当する都道府県の部署一覧、「全国がん登録届出支援サイト」の概要などで構成する。

厚労省は同日、政府が 4 日に閣議決定した「がん登録等の推進に関する法律の施行令」も告示した。

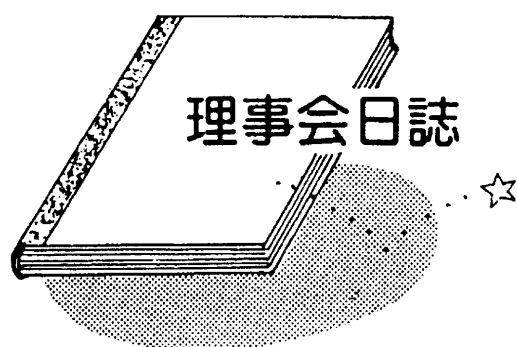
(平成 27 年 9 月 15 日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズルーム>日医インターネットニュースメンバーズルームへのアクセス方法

ユーザ ID: 会員 ID (日医刊行物送付番号) の 10 桁の数字(半角)

パスワード: 生年月日の「西暦の下 2 桁, 月 2 桁, 日 2 桁」の 6 桁の数字(半角)



平成 27 年 8 月 18 日(火)第 13 回常任理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 9/13(木) JA かんづめ 九州厚生局及び宮崎県による社会保険担当者(医科)の新規個別指導の実施に係る立会について

6 医療機関を対象に行われる新規個別指導で、立元常任理事を立会人として派遣することが承認された。

2. 9/30(木) 都城 講演会の講師依頼について

医療事故調査制度に関する研修を目的に開催される講演会で、濱田副会長を講師として派遣することが承認された。

3. 10/3(土) 長崎)「九医連平成 27 年度第 1 回各種協議会」及び「九医連医療事故調査制度担当理事連絡協議会」の提案事項に対する回答について

医療事故調査は濱田副会長、地域医療対策は池井常任理事、医療保険は濱田副会長と小牧常任理事、介護保険・在宅医療は金丸常任理事と牛谷常任理事が中心となって回答の取りまとめを行うことが承認された。

4. 宮崎大学医学部教授等と県医役員等との懇談会開催について

毎年、地域医療の諸問題について意見交換を行うことを目的に開催する懇談会で、日程

及びプログラムの確認が行われ、宮大学長をはじめとする関係者に案内することが承認された。

5. 本会外の役員等の推薦について

宮崎県国民保護協議会委員及び幹事の推薦について

→武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づき、国民保護計画等について審議するための協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き委員に河野会長、幹事に小牧常任理事を推薦することが承認された。

6. 後援・共催名義等使用許可について

10/25(木) 佐土原総合文化センター)「宮崎キュアケアネットワーク市民参加型フォーラム」名義後援のお願いについて

→「『在宅医療』知っていますか？家で最期まで療養したい人に。- 生活リハビリを活用して、家での生活をとりもどそう！-」をテーマに開催される市民参加型フォーラムで、名義後援を行うことが承認された。

7. 8/30(木) 県庁及び都城市、日南市、串間市の各訓練会場)平成 27 年度宮崎県総合防災訓練の参加について

大規模災害発生時の初動対応の確立と、関係機関との連携強化を図り、今後の課題を明らかにすることを目的に開催される防災訓練で、濱田副会長と小牧常任理事が参加することが承認された。

##### (報告事項)

1. 8/12(木) 支払基金)支払基金幹事会について
2. 8/12(木)～16(日)県医医家芸術展について
3. 8/17(木) 県庁)県精神科救急医療システム連絡調整委員会について
4. 地域医療介護総合確保基金に係る平成 27 年度新規事業提案(介護関係)について

## 医師連盟関係

## ( 議決事項 )

- 1 . 9 /28日( ホテルメリージュ宮崎 )参議院議員  
長峯誠モーニングセミナーのご案内について  
早朝の開催で、診療時間等と重なるため、  
参加を見送ることが承認された。

## 平成 27年 8 月 25日(火)第 6 回全理事協議会

## 医師会関係

## ( 議決事項 )

- 1 . 9 /10日( JA 会館 )九州厚生局及び宮崎県に  
よる社会保険医療担当者( 医科 )の個別指導の  
実施に係る立会について  
6 医療機関を対象に行われる個別指導で、  
川野理事を立会人として派遣することが承認  
された。
- 2 . 9 /11日( JA 会館 )九州厚生局及び宮崎県に  
よる社会保険担当者( 医科 )の集团的個別指導  
の実施に係る立会について  
3 医療機関を対象に行われる集团的個別指  
導で、小牧常任理事を立会人として派遣する  
ことが承認された。
- 3 . 医療事故調査制度について  
本県の準備状況として、支援団体による連  
絡協議会と医療機関に対し具体的な支援を行  
う院内事故調査支援委員会の組織化と、専門  
的なアドバイスを行う協力専門委員の登録を  
行い対応していく旨の説明があり、今後、10  
月 1 日の施行に向け、準備会等を開催しなが  
ら体制を整えていくことが承認された。
- 4 . 10/15日( 日医 )第 3 回産業保健活動推進全国  
会議の開催について  
産業保健活動の在り方について検討するこ  
とを目的に開催される全国会議で、佐々木常  
任理事と県内 4 か所の地域産業保健センター  
のコーディネーターが出席することが承認さ

れた。

- 5 . 平成 27年度都道府県医師会学校保健担当理事  
連絡協議会の開催について  
学校保健安全法施行規則改正に伴い、平成  
28年 4 月から新たな学校検診がスタートする  
ことにより開催される連絡協議会で、高村常  
任理事の出席とTV 会議の参加について各郡  
市医師会に照会することが承認された。
  - 6 . 10/24日( 秋田 )平成 27年度全国医師会勤務医  
部会連絡協議会の開催について  
「日本の国情から見た理想的な勤務医とそ  
の将来像 - 地域医療充実へのロードマップ - 」  
をメインテーマに開催される連絡協議会で、  
上田・岩村・米澤理事が出席することが承認  
された。
  - 7 . 11/1 日( 西都市 )県高等学校総合体育大会駅  
伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派  
遣について  
毎年、西都市公認マラソンコースで行われ  
る大会で、開催地の西都市西児湯医師会へ人  
選をお願いすることが承認された。
  - 8 . 11/15日( 西都市 )全九州高等学校体育大会駅  
伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派  
遣について  
本県において 8 年ぶりに開催される九州大  
会で、開催地の西都市西児湯医師会へ人選を  
お願いすることが承認された。
  - 9 . 9 ・ 10月の行事予定について  
9 月の追加と 10月の行事について確認が行  
われた。
- ( 報告事項 )
- 1 . 週間報告について
  - 2 . 8 /22日( 長崎 )九医連常任委員会について
  - 3 . 8 /24日( 県庁 )県健康長寿社会づくり推進  
会議について
  - 4 . 8 /25日( 県庁 )県障害者施策推進協議会に  
ついて

5. 8 / 25(火) 宮観ホテル )みやざき若手医師キャリアプラン講演会・交流会について

6. 8 / 22(土) 長崎 )九医連定例委員総会について

7. 8 / 20(木) 宮観ホテル )医療事故調査制度施行に向けての事前打合せ会について

8. 8 / 21(金) 日医 )都道府県医師会医療事故調査制度担当理事連絡協議会について

9. 「医師資格証」出欠管理システムについて

10. 8 / 20(木) 西都 )社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

11. 8 / 24(月) 県医 )広報委員会について

12. 平成 27 年度地域医療介護総合確保基金(医療分)第 1 回内示分に関する調査について

13. 8 / 23(日) 福岡 )日本プライマリ・ケア九州支部長会について

14. 7 / 22(火) 宮崎労働局 )労災診療指導委員会について

15. 7 / 25(土)・26(日) 茨城 )全国有床診療所連絡協議会について

16. 7 / 30(木) 県医 )労災部会自賠委員会、損害保険医療協議会について

17. 8 / 22(土)・23(日) 大分 )中四九地区医師会看護学校協議会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会

(報告事項)

1. 8 / 25(火) 宮観ホテル )医協理事・運営委員合同協議会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 「自見はなこ後援会事務所」看板設置について  
今回の看板割り当てが 3 枚であることから、県内を 3 つのエリアに分け、県北：延岡市医師会館、県央：宮崎県医師会館、県南：都城市北諸県郡医師会館に配置することが承認された。

(報告事項)

1. 8 / 22(土) 長崎 )九州医連連絡会執行委員会について

平成 27 年 9 月 1 日(火)第 14 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 11/1(日) 日医 )第 68 回日本医師会設立記念医学大会表彰者の決定及びご臨席のお願いについて

日医最高優功賞を含む各種表彰等が行われる記念医学会で、河野会長が所用により出席できないため、立元常任理事が代理として出席することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

国立大学法人宮崎大学経営協議会委員の就任について

→国立大学法人法により重要事項の審査機関として設置が義務づけられている協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き河野会長が委員に就任にすることを承認した。

宮崎県歯科保健推進協議会委員の推薦について

→生涯にわたる歯・口腔の健康づくりに関する施策を総合的に推進し、県民の健康保持増進に寄与することを目的に設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き荒木常任理事を推薦することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

11/18(火) メディキット県民文化センター)

平成 27 年度宮崎県社会福祉大会に対する後援名義の使用許可について

→「これからも暮らし続けたいまちづくり～みんなで描く地域の未来図～」をテーマに、地域福祉の充実を目的に開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 看護専門学校設立同意書について

宮崎市の社会医療法人同心会の看護専門学校(3 年課程)設立については、他の看護学校

の研修施設確保等にも充分配慮することを要望した上で、その趣旨に鑑み同意することとすることが承認された。

5. 台湾における爆発事故における重傷熱傷患者に対する医療支援活動への支援について

6月末、台湾新北市のテーマパークで発生した爆発事故で、負傷した方に対する支援依頼で、県医師会として協力することが承認された。

6. 県医・協同組合・医師国保の一体的資金運用について

三団体の資金を同時に、同一期間運用することで、金利等の引き上げ交渉を行うもので、大口定期の一部と無利息普通預金を中心に6か月を目途に運用することが承認された。

7. 業務委託について

平成27年度高次脳機能障がい講演会の委託契約について

→医療機関の診断技術の向上に資することを目的に、講演会等を行う委託事業で、契約を締結することが承認された。

8. 11/28(土) 福岡)平成27年度九州学校検診協議会第2回専門委員会の開催について

本会から、高村常任理事、高木純一先生、宮田純一先生、澤田浩武先生が出席することが承認された。

9. 11/28(土) 福岡)九州各県医師会学校保健担当理事者会の開催について

九州学校検診協議会専門委員会に引き続き開催される担当理事者会で、高村常任理事が出席することが承認された。

#### (報告事項)

1. 8月末日現在の会員数について
2. 8/27(木) 日医)日医医療情報システム協議会運営委員会について
3. 8/31(火) 県医)基金事業(医師確保分)に関する検討会について

4. 8/26(金)九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

5. 8/26(水) 日医)日医マイナンバー研修会について

6. 8/27(木) 日医)日医公衆衛生委員会について

7. 8/30(日) 県庁他)県総合防災訓練について

8. 9/1(火) 県医)治験審査委員会について

9. 8/29(土) 宮観ホテル)在宅医療協議会役員会・総会・研修会・交流会について

10. 8/27(木) KITEEN)みやざき子育てサポート連絡会議について

医師連盟関係

#### (議決事項)

1. 10/6(火) 宮観ホテル)清山知憲県政報告会のご案内について

慶應義塾大学の中室牧子准教授を特別講演講師にお招きし開催される「県政報告会」で、協力することが承認された。

2. 10/18(日) メインホテル)衆議院議員古川禎久第8回特別セミナーについて

内閣府特命担当大臣石破茂衆議院議員を講師にお招きし開催される特別セミナーで、協力することが承認された。

平成27年9月8日(火)第15回常任理事協議会

医師会関係

#### (議決事項)

1. 平成27年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

公衆衛生事業に関する功績により県知事又は日本公衆衛生協会長等の表彰を受け、かつ健康増進、疾病予防、生活衛生、衛生教育等の諸事業における功績が顕著な方に贈られる表彰で、3名の先生を推薦することが承認された。

2. 11/14(土) 長崎)九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会における日本医師会への質問・要望事項について

日本医師会横倉会長の中央情勢報告に対する質問・要望事項の確認が行われ、「診療報酬改定」に関連して吉田常任理事、「地域医療介護総合確保基金」に関連して池井常任理事が文案をまとめることが承認された。その他、役員から質問等があれば事務局を經由して会長に届け出ることとなった。

3. 9/12(木) 宮崎市民文化ホール)ヤクルトブレゼンツ「GOGO ワイド健康フォーラム」、学んで笑って秋祭りスペシャル「正しい健康情報で身体はてーげ元気！」の名義後援依頼について

隔年で開催される県民を対象とした健康フォーラムで、今回は「疫学」をテーマに開催され、名義後援を行うことが承認された。

4. 本会外の役員等の推薦について

宮崎地方労働審議会委員(第 8 期)の委員の委嘱について

→宮崎労働局長の諮問に応じ、労働関係法令の施行や公共職業安定所の業務に関する重要事項を調査、協議する審議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、川野理事を推薦することが承認された。

宮崎産業保健総合支援センター運営協議会委員の推薦について

→産業保健総合支援センターの効率的・効果的な運営のために設置される協議会で任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き佐々木(幸)常任理事と川野理事を推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 9/1(火) 県医)県医療事故調査支援団体連絡協議会準備会について
3. 9/13(木) JA ǂZM)社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導の立会いについて
4. 9/12(水) わらしべ)土曜会(報道機関支局長の会)との懇談会について
5. 平成 27 年度地域医療介護総合確保基金事業(医療分)について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 10/19(月)公明党宮崎県本部「政策要望懇談会」開催のご案内について  
関係団体の意見・要望を聴取するために企画された会議で、懇談会に参加すると共に自由民主党と同様の要望を提出することが承認された。

医師年金ご加入のおすすめ

## 医師国保組合だより

### 保健事業のご案内

医師国保組合では、下記の保健事業を実施いたしておりますので、ぜひご利用ください。

#### 1. 健康診断

**対 象 者** 次のいずれかに該当する被保険者の方々です。

- ・組合員，高齢組合員並びにその配偶者
- ・本年度中に満 40 歳になる方～ 74 歳の方

**実施機関** 各地域の健診機関並びに医療機関(自院で実施されても請求できます)

日曜日の集団健診 予約は当組合にお電話ください)

実施機関 宮崎市郡医師会成人病検診センター

|         |                    |                                         |
|---------|--------------------|-----------------------------------------|
| 平成 27 年 | 11 月 15 日(第 3 日曜日) | 定員各 20 名<br>(子宮頸がん検診，<br>内視鏡検査は実施できません) |
| 平成 28 年 | 1 月 17 日(第 3 日曜日)  |                                         |
|         | 2 月 7 日(第 1 日曜日)   |                                         |
|         | 2 月 21 日(第 3 日曜日)  |                                         |
|         | 3 月 6 日(第 1 日曜日)   |                                         |

**検査項目** 血液生化学検査，肝機能検査，血糖検査，尿検査，心電図検査，貧血検査，胸部 X 線検査，便潜血検査，腹部超音波検査他，詳細は「健康診断個人票」にてご確認ください(胃・大腸内視鏡検査を実施した場合は，補助金を別途支給いたします。次項をご覧ください)。

**実施期間** 平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月末まで

#### 2. 胃・大腸内視鏡検査の補助

**対 象 者** 次のいずれかに該当する被保険者の方々です(健康診断対象者と同様)。

- ・組合員，高齢組合員並びにその配偶者
- ・本年度中に満 40 歳になる方～ 74 歳の方

**検査内容・補助金額**

胃内視鏡検査 15,300 円

大腸内視鏡検査 21,950 円

それぞれ 1 人 1 回，上記金額を上限として実費を補助します。

**実施期間** 平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月末まで

**請求方法** 支給申請書により，組合に申請してください。

#### 3. 脳ドック等の補助

**対 象 者** 被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員

**実施機関** 各地域の健診機関並びに医療機関

**検査内容・補助金額**

頭部 MRI，頭部 MRA，頭部 CT 等 20,000 円

1 人 1 回，上記金額を上限として実費を補助します。

**実施期間** 平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月末まで

**請求方法** 支給申請書により，組合に申請してください。

## 4. 歯科健康診査

**対 象 者** 被保険者全員( 組合員とその世帯に属する方 )並びに高齢組合員

**実施機関** 宮崎県歯科医師会の会員である歯科医院

**健診内容** \* A または B コースのいずれかをお選びいただけます( 健診のみ実施も可 )。

- A コース 歯科健康診査 + 歯石除去・歯のクリーニング
- B コース 歯科健康診査 + 歯石除去・歯のクリーニング + フッ素塗布

歯科健診の項目...歯の状況, 歯周病, 補綴の状況, 顎関節, アフタ, 口腔粘膜疾患等  
歯石除去は保険診療の歯石除去とは内容が異なります。

**申込・受診方法**

組合員宛にお送りしている申込書に記入の上, 組合宛にファックスしてください。  
無料券, 歯科健康診査票( 3 枚複写 ), 質問票, 結果票を人数分送付します。  
歯科医院へ受診の予約をしてください。  
\* 宮崎県歯科医師会の会員であることを必ずご確認ください。  
健診当日は, 無料券, 歯科健康診査票( 3 枚複写 ), 質問票, 結果票, 被保険者証を  
予約された歯科医院へご持参ください。

**実施期間** 平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月末まで

## 5. 肺炎球菌ワクチン接種補助

**対 象 者** 被保険者全員( 組合員とその世帯に属する方 )並びに高齢組合員

**補助金額** 1 人 5,000 円

支払額が補助額を超えた場合の差額は自己負担となります。

**接種期間** 平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月末まで

**請求方法** 支給申請書により, 組合に申請してください。

## 6. インフルエンザワクチン接種補助

**対 象 者** 被保険者全員( 組合員とその世帯に属する方 )並びに高齢組合員

**補助金額** 1 人 1 回 2,000 円( 高齢組合員は 1,000 円 )

**接種期間** 平成 27 年 10 月から平成 28 年 2 月末まで

**請求方法** 支給申請書により, 組合に申請してください。

組合員の皆様方には詳細のご案内を送付いたしております。  
また, 当組合のウェブサイトでもご案内しております。  
<http://www.miyazakimed.or.jp/kokuho/>

事務局・お問い合わせ先

宮崎県医師国民健康保険組合

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101 ☎ 0985-22-6588

## 医師国保組合だより

社会保障・税番号  
(通称：マイナンバー) 制度について

## ● マイナンバー制度とは

複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるということの確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤(インフラ)です。

## ● 来年 1 月からマイナンバー制度が開始されます

10 月から順次、「通知カード」が、お住まいの市町村から委託を受けた地方公共団体情報システム機構から各世帯へ郵送され、国民一人ひとりに固有のマイナンバー(12桁の個人番号)が通知されます。

来年 1 月から社会保障、税、災害対策の分野で利用が開始されます。

## ● 当組合でも被保険者の皆様のマイナンバーが必要です

医療保険者である当組合は、「個人番号利用事務実施者」に該当し、被保険者に対する各種手続きへの利便性の向上や行政機関及び他の保険者との情報連携などを行うため、皆様に通知されるマイナンバーを利用させていただくことになります。

具体的には、マイナンバーが記載された申請書・届出書等の提出を受けて、被保険者の皆様のマイナンバーを取得し、情報提供ネットワークシステムを通じて、情報照会・情報提供(情報連携)を行います。これにより、その対象となる手続きで住民票や所得証明書等の添付書類の省略ができるようになります。

被保険者の皆様におかれましては、「通知カー

ド」は大切に保管していただき、組合からの照会の際にはご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、世帯を離れて暮らしておられる学生さん(国保法第 11 条該当届出者)のマイナンバーも必要です。「通知カード」の保管について、組合員の先生方から必ずご連絡いただきますようお願いいたします。

## ● マイナンバーを取得する対象者について

平成 27 年 1 月 1 日時点の被保険者(組合員及びその世帯に属する被保険者)及びその後の新規加入者が予定されています。

マイナンバーの提出方法や時期については、詳細が決まり次第、別途お知らせいたします。

## ● 個人情報は保護されます

マイナンバーをその内容に含む個人情報は「特定個人情報」とされ、個人情報保護法が適用になります。マイナンバーの取り扱いは、個人情報保護法よりも厳格な保護措置が設けられています。マイナンバーを取得するにあたっては、利用目的を本人に通知または公表します。

## ● マイナンバーの詳しい情報・問い合わせ先

- ・社会保障・税番号制度(内閣官房)のホームページをご覧ください。

ホームページ内にある FAQ(よくある質問)もご活用ください。

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>

- ・コールセンター 0570-20-0178

全国共通ナビダイヤル 9:30~17:30

(土日祝日・年末年始を除く)

# 県 医 の 動 き

( 9 月 )

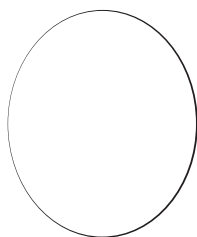
|    |                                                                                                                                                                          |    |                                                                                                                                                                               |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 治験審査委員会( 富田副会長他 )<br>第 14回常任理事協議会( 会長他 )<br>県医療事故調査支援団体連絡協議会準備会<br>( 富田副会長他 )                                                                                            | 14 | 県内科医会理事会( 小牧常任理事 )<br>広報委員会( 富田副会長他 )                                                                                                                                         |
| 2  | 産業医研修会<br>土曜会( 報道機関支局長の会 )との懇談会<br>( 会長他 )                                                                                                                               | 15 | ( 日医 )都道府県医師会長協議会( 会長 )<br>医協理事会( 富田理事長他 )<br>( 東京 )明日の医療を語る会( 河野委員長 )<br>第 16回常任理事協議会( 富田副会長他 )<br>医療事故調査支援委員会準備会<br>( 富田副会長他 )                                              |
| 3  | 社会保険医療担当者( 医科 )の新規個別指導の<br>立会い( 立元常任理事 )<br>県がん診療連携協議会( 会長 )<br>宮崎銀行経営説明会( 会長 )<br>県産婦人科医会医療保険委員会( 濱田副会長 )<br>女性医師事業打合せ会( 荒木常任理事他 )<br>県産婦人科医会医療対策委員会医療安全部会<br>( 濱田副会長 ) | 16 | 県警本部長との面談( 会長他 )<br>( 日医 )一般社団法人全国医師国民健康保険組<br>合連合会設立記念祝賀会( 佐々木理事 )                                                                                                           |
| 4  | 在宅医療研修会企画小委員会( 牛谷常任理事 )                                                                                                                                                  | 17 | 社会保険担当者( 医科 )の集团的個別指導<br>( 小牧常任理事 )<br>産業医研修会( 都城市北諸県郡医師会 )                                                                                                                   |
| 5  | 県産婦人科医会A L S O 研修会( 鮫島理事 )<br>県医師会医学会( 会長他 )                                                                                                                             | 19 | 県産婦人科医会秋期総会( 濱田副会長他 )<br>平井俊範先生教授就任祝賀会( 会長 )                                                                                                                                  |
| 6  | 県産婦人科医会A L S O 研修会( 鮫島理事 )                                                                                                                                               | 24 | ( 日医 )日医医療情報システム協議会運営委員<br>会( 富田副会長 )<br>広報委員会( 荒木常任理事他 )                                                                                                                     |
| 8  | 医協打合せ会( 立元副理事長 )<br>第 15回常任理事協議会( 富田副会長他 )<br>未来の医療を語り合う全員交流会 in<br>M I Y A Z A K I ( 会長 )                                                                               | 25 | 県医療事故調査支援団体連絡協議会( 会長他 )<br>医療事故調査支援委員会( 会長他 )                                                                                                                                 |
| 9  | 支払基金幹事会( 会長 )<br>地域医療における働きやすい環境を考える会<br>学生向けセミナー( 荒木常任理事他 )<br>宮崎市医師会との意見交換会( 会長他 )                                                                                     | 26 | ( 富山 )全医秘協常任委員会( 富田副会長 )<br>( 富山 )全医秘協定例総会・運営委員会<br>( 富田副会長他 )<br>県有床診療所協議会総会( 会長他 )                                                                                          |
| 10 | 社会保険医療担当者( 医科 )の個別指導<br>( 川野理事 )<br>県内科医会医療保険委員会( 小牧常任理事 )<br>県産婦人科医会常任理事会( 濱田副会長他 )<br>県内科医会臨時委員会( 小牧常任理事 )                                                             | 27 | 県小児科医会秋季学術講演会<br>( 高村常任理事他 )                                                                                                                                                  |
| 11 | 産業医研修会( 都城圏域地場産業振興センター )<br>( 日医 )日医医療秘書認定試験委員会<br>( 富田副会長 )                                                                                                             | 28 | 県立宮崎病院改築に係る基本設計業務プロポー<br>ザル選定委員会( 会長 )<br>( 延岡市医師会病院 )延岡市医師会 9 月例会に<br>伴う講演会( 濱田副会長 )                                                                                         |
| 12 | 九州沖縄医療情報技師会勉強会( 富田副会長 )<br>産業医研修会( 前期 )( 佐々木常任理事 )<br>園医部会総会・研修会( 高村常任理事他 )                                                                                              | 29 | 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>( 濱田副会長 )<br>第 7 回全理事協議会( 会長他 )<br>医協理事・運営委員合同協議会( 会長他 )<br>各都市医師会長協議会( 会長他 )                                                                            |
| 13 | ( 東京 )日本産婦人科医会地域代表全国会議<br>( 濱田副会長 )<br>( 東京 )日医連医政活動研究会<br>( 吉田常任執行委員 )                                                                                                  | 30 | 県准看護師試験問題調整委員会<br>( 立元常任理事 )<br>労災診療指導委員会( 川野理事 )<br>県産婦人科医会子宮頸がん併用検診研修会<br>( 濱田副会長 )<br>三師会懇談会( 会長他 )<br>健康スポーツ医学委員会( 川野理事他 )<br>( 都城市北諸県郡医師会館 )都城市北諸県郡<br>医師会学術講演会( 濱田副会長 ) |

## ニューメンバー

新入会員と新規開業会員をご紹介しますコーナーです。

宮崎市  
富吉共立病院

おお つか のぶ あき  
大 塚 伸 昭

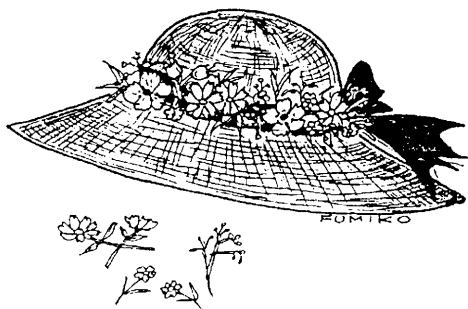


|         |                                                    |
|---------|----------------------------------------------------|
| 住 所     | 宮崎市                                                |
| 専門科目    | 循環器内科，内科                                           |
| 略 歴     |                                                    |
| 昭和 53 年 | 鹿児島大学医学部卒業                                         |
| 同 年     | 宮崎医科大学第一内科入局<br>(循環器グループ所属)                        |
| 昭和 57 年 | 九州大学医学部循環器内科<br>北九州厚生年金病院循環器<br>内科<br>宮崎医科大学第一内科助手 |
| 昭和 59 年 | 県立宮崎病院内科副医長，<br>循環器部長                              |
| 平成 7 年  | 社会保険江南病院<br>健診センター長                                |
| 平成 26 年 | 大分東部病院<br>健診センター長                                  |
| 平成 27 年 | 富吉共立病院内科                                           |

**自己紹介** 平成 27 年 8 月から 1 年間  
大分東部病院に勤務していましたので、  
今回は再入会ということになります。  
8 月 21 日より医療法人慶明会富吉共立  
病院の内科医として勤務しています。  
臨床を離れていた時期がありましたが、  
再度宮崎市内で循環器内科を中心とし  
た医療ができることに感謝しています。  
勿論、カテーテルインターベンション  
など最前線の治療は出来ませんが、で  
きる範囲で治療に専念したいと考えて  
います。昨年は大分東部病院健診セン  
ター長として勤務し、最新の CT や  
MRI 機器による頭部、胸腹部診断の  
勉強もさせていただき、知識も増えま  
した。今後の診療にも大いに役立つと  
考えます。今後ともよろしくお願いい  
たします。

## お知らせ

### カット、イラストの募集



日州医事のページを飾るカットやイラストを募  
集しております。是非、作品をお寄せください。  
なお、白黒での掲載になります。採否は広報委  
員会にお任せください。

原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会  
〒 880-0023  
宮崎市和知川原 1 丁目 101  
genko@m-iyazakim-ed.or.jp

保険管理表

団体所得補償保険

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 27 年 9 月 15 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 5 人

#### 1) 男性医師求職登録数 5 人 (人)

| 希 望 診 療 科 目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-------------|-------|-----|-------|
| 内 科         | 4     | 3   | 1     |
| 外 科         | 1     | 1   | 0     |

#### 2) 女性医師求職登録数 0 人

### 2. 斡旋成立件数 51 人

(人)

|              | 男性医師 | 女性医師 | 合 計 |
|--------------|------|------|-----|
| 平 成 27 年 度   | 2    | 0    | 2   |
| 平成 16 年度から累計 | 37   | 14   | 51  |

### 3. 求人登録 88 件 325 人

(人)

| 募 集 診 療 科 目 | 求 人 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-------------|-------|-----|-------|
| 内 科         | 108   | 80  | 28    |
| 外 科         | 28    | 24  | 4     |
| 整 形 外 科     | 25    | 22  | 3     |
| 精 神 科       | 19    | 17  | 2     |
| 循 環 器 科     | 8     | 7   | 1     |
| 脳 神 経 外 科   | 12    | 9   | 3     |
| 消 化 器 内 科   | 12    | 10  | 2     |
| 麻 酔 科       | 12    | 9   | 3     |
| 眼 科         | 6     | 5   | 1     |
| 放 射 線 科     | 10    | 9   | 1     |
| 小 児 科       | 1     | 0   | 1     |
| 呼 吸 器 内 科   | 10    | 9   | 1     |
| リハビリテーション科  | 6     | 5   | 1     |
| 総合診療科・内科    | 7     | 6   | 1     |
| 神 経 内 科     | 7     | 6   | 1     |
| 救 命 救 急 科   | 7     | 7   | —     |
| 健 診         | 3     | 1   | 2     |
| 産 婦 人 科     | 1     | 1   | —     |
| 泌 尿 器 科     | 1     | —   | 1     |
| 検 診         | 4     | 2   | 2     |
| 皮 膚 科       | 3     | 2   | 1     |
| 人 工 透 析     | 4     | 4   | —     |
| 在 宅 担 当 医   | 1     | 1   | —     |
| そ の 他       | 30    | 26  | 4     |
| 合 計         | 325   | 262 | 63    |

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施 設 名                     | 所 在 地 | 募 集 診 療 科                      | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|---------------------------|-------|--------------------------------|-----|---------|
| 160011 | 赤十字血液センター                 | 宮 崎 市 | 検診                             | 3   | 常勤・非常勤  |
| 160013 | 医)三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮 崎 市 | 脳外,整,放,麻,内                     | 10  | 常勤・非常勤  |
| 160017 | 医)プレストピア プレストピア宮崎病院       | 宮 崎 市 | 乳外,放,内,麻                       | 3   | 常勤      |
| 160020 | 財)弘潤会 野崎病院                | 宮 崎 市 | 精,内                            | 2   | 常勤      |
| 160031 | 社医)同心会 古賀総合病院             | 宮 崎 市 | 呼,神内,眼,総診,呼外,<br>臨病,乳外,整外,麻酔   | 11  | 常勤      |
| 160033 | 医)如月会 若草病院                | 宮 崎 市 | 精                              | 2   | 常勤      |
| 170046 | 医)社団善仁会 市民の森病院            | 宮 崎 市 | 消内,内泌糖内,呼,リウマチ,<br>神経内,健診      | 6   | 常勤・非常勤  |
| 170048 | 医)慶明会 けいめい記念病院            | 国 富 町 | 内,放,在宅医療                       | 3   | 常勤      |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院               | 宮 崎 市 | 内,神内,整,消内                      | 5   | 常勤      |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                 | 宮 崎 市 | 内(緩和ケア),消内,呼内,<br>総診           | 8   | 常勤      |
| 190094 | 医)耕和会 迫田病院                | 宮 崎 市 | 内,外,整                          | 8   | 常勤・非常勤  |
| 190095 | 医)慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮 崎 市 | 眼                              | 1   | 常勤      |
| 190096 | 医)晴緑会 宮崎医療センター病院          | 宮 崎 市 | 消化,麻,循,リハビリ                    | 5   | 常勤・非常勤  |
| 200104 | 医)社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮 崎 市 | 内,外,救急,呼外,婦人,整,<br>麻           | 7   | 常勤      |
| 200105 | 医)誠友会 南部病院                | 宮 崎 市 | 内,外,放                          | 3   | 常勤      |
| 210110 | 医)幸秀会 大江整形外科病院            | 宮 崎 市 | 整                              | 1   | 常勤      |
| 210118 | 慈英病院                      | 宮 崎 市 | 内,整,リハビリ                       | 7   | 常勤・非常勤  |
| 230128 | 医)真愛会 高宮病院                | 宮 崎 市 | 内,精                            | 2   | 常勤      |
| 230132 | 医)康友会 青島クリニック             | 宮 崎 市 | 内                              | 1   | 常勤      |
| 230134 | 医)慈光会 宮崎若久病院              | 宮 崎 市 | 精                              | 1   | 常勤      |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラみやざき        | 国 富 町 | 内,外                            | 2   | 常勤      |
| 230143 | 医)社団孝寿会 上田脳神経外科           | 宮 崎 市 | 脳外,内                           | 2   | 常勤      |
| 230144 | 宮崎生協病院                    | 宮 崎 市 | 総内,呼吸内,消化器内,<br>健診             | 8   | 常勤・非常勤  |
| 230146 | 財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮 崎 市 | 内,神内,外,整外,脳外,<br>リハ,麻酔,救急,緩和ケア | 10  | 常勤      |
| 230148 | 医)コムロ美容外科                 | 宮 崎 市 | 美外,形成外,外,麻酔                    | 8   | 常勤・非常勤  |
| 230161 | 医)建心会 滝口内科医院              | 宮 崎 市 | 内                              | 2   | 常勤・非常勤  |
| 230164 | 宮崎県保健所                    | 宮 崎 市 | 公衆衛生                           | 3   | 常勤      |
| 230165 | 野崎病院健診センター                | 宮 崎 市 | 健診                             | 1   | 非常勤     |
| 230171 | 医)いなほ会日高医院                | 宮 崎 市 | 内                              | 1   | 非常勤     |
| 230174 | 医)常聖会 巴外科内科               | 宮 崎 市 | 内                              | 1   | 非常勤     |
| 230175 | 社会福祉法人 キャンパスの会            | 宮 崎 市 | 内,小,整                          | 1   | 常勤      |
| 160008 | 医)正立会 黒松病院                | 都 城 市 | 泌                              | 1   | 非常勤     |
| 160010 | 特医)敬和会 戸嶋病院               | 都 城 市 | 内,消内,整,神内                      | 7   | 常勤・非常勤  |
| 160018 | 医)宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都 城 市 | 内,救急,放射,脳外,外,<br>眼,透内,皮膚       | 8   | 常勤      |
| 170057 | 医)清陵会 隅病院                 | 都 城 市 | 内,外,整                          | 3   | 常勤      |
| 180064 | 国立病院機構都城医療センター            | 都 城 市 | 内,呼内,総合診療                      | 4   | 常勤      |
| 180081 | 医)恵心会 永田病院                | 都 城 市 | 精                              | 1   | 常勤      |
| 190092 | 都城市郡医師会病院                 | 都 城 市 | 内,呼                            | 6   | 常勤      |
| 210114 | 藤元病院                      | 都 城 市 | 精,内                            | 3   | 常勤      |
| 230127 | 医)倫生会 三州病院                | 都 城 市 | 外,内,整                          | 7   | 常勤・非常勤  |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑             | 都 城 市 | 不問                             | 1   | 常勤      |

| 登録番号   | 施 設 名             | 所 在 地 | 募 集 診 療 科                        | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|-------------------|-------|----------------------------------|-----|---------|
| 230137 | 医 宏仁会 海老原内科       | 都 城 市 | 内                                | 1   | 常勤      |
| 230142 | 医 魁成会 宮永病院        | 都 城 市 | 内 ,リハビリ                          | 2   | 常勤      |
| 230153 | 都城健康サービスセンター      | 都 城 市 | 内                                | 1   | 非常勤     |
| 230157 | 医 一誠会 都城新生病院      | 都 城 市 | 精 ,内                             | 4   | 常勤・非常勤  |
| 230162 | 藤元総合病院            | 都 城 市 | 内 ,透 ,循内 ,救急 ,放射 ,<br>病理 ,呼吸内 ,精 | 16  | 常勤      |
| 230172 | 医 静雄会 藤元上町病院      | 都 城 市 | 内                                | 4   | 常勤・非常勤  |
| 160012 | 医 伸和会 共立病院        | 延 岡 市 | 外 ,整 ,放 ,内                       | 6   | 常勤      |
| 160021 | 医 建悠会 吉田病院        | 延 岡 市 | 精                                | 3   | 常勤・非常勤  |
| 160034 | 特医 健寿会 黒木病院       | 延 岡 市 | 外 ,内 ,緩ケア                        | 6   | 常勤・非常勤  |
| 190086 | 早田病院              | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 常勤      |
| 200100 | 医 育生会 井上病院        | 延 岡 市 | 産婦 ,内                            | 2   | 常勤      |
| 200102 | 延岡市医師会病院          | 延 岡 市 | 消内 ,消外 ,内                        | 5   | 常勤      |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター       | 延 岡 市 | 内 ,小                             | 2   | 非常勤     |
| 230151 | 介護老人保健施設エクセルライフ   | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 常勤      |
| 230156 | 医 中心会 野村病院        | 延 岡 市 | 内 ,外                             | 2   | 常勤      |
| 230163 | 堺胃腸科内科クリニック       | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 非常勤     |
| 160039 | 医 誠和会 和田病院        | 日 向 市 | 外 ,内 ,整 ,神内                      | 6   | 常勤      |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院       | 門 川 町 | 内                                | 3   | 常勤      |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院     | 美 郷 町 | 内 ,整                             | 2   | 常勤      |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所    | 美 郷 町 | 内                                | 1   | 常勤      |
| 230160 | 日向市立東郷病院          | 日 向 市 | 内 ,整                             | 2   | 常勤      |
| 160006 | 都農町国保病院           | 都 農 町 | 内 ,放 ,外                          | 3   | 常勤      |
| 160023 | 医 宏仁会 海老原総合病院     | 高 鍋 町 | 整 ,内 ,総合診療 ,麻 ,眼 ,<br>健診 ,循 ,脳   | 10  | 常勤・非常勤  |
| 230170 | 介護老人保健施設なでしこ園     | 高 鍋 町 | 内                                | 1   | 常勤      |
| 160024 | 医 隆徳会 鶴田病院        | 西 都 市 | 内 ,外                             | 2   | 常勤      |
| 150002 | 医 慶明会 おび中央病院      | 日 南 市 | 内                                | 4   | 常勤・非常勤  |
| 150003 | 医 同仁会 谷口病院        | 日 南 市 | 精                                | 1   | 常勤      |
| 160022 | 医 愛鍼会 山元病院        | 日 南 市 | 内                                | 2   | 常勤      |
| 160037 | 医 十善会 県南病院        | 串 間 市 | 精 ,内(いずれか)                       | 1   | 常勤      |
| 170047 | 日南市立中部病院          | 日 南 市 | 内 ,外 ,整 ,リハビリ ,在宅診療              | 5   | 常勤      |
| 180071 | 串間市民病院            | 串 間 市 | 内 ,外                             | 2   | 常勤      |
| 230138 | 小玉共立外科            | 日 南 市 | 不問                               | 2   | 常勤・非常勤  |
| 230149 | 介護老人保健施設おびの里      | 日 南 市 | 内                                | 2   | 常勤・非常勤  |
| 230166 | 医 秀英会 英医院         | 串 間 市 | 内                                | 1   | 常勤      |
| 230168 | 医 月陽会 きよひで内科クリニック | 日 南 市 | 内                                | 7   | 常勤・非常勤  |
| 160019 | 医 相愛会 桑原記念病院      | 小 林 市 | 内 ,皮膚                            | 4   | 常勤・非常勤  |
| 170043 | 医 和芳会 小林中央眼科      | 小 林 市 | 眼                                | 2   | 常勤・非常勤  |
| 180067 | 小林市立病院            | 小 林 市 | 救急 ,総合診療 ,放                      | 5   | 常勤      |
| 180076 | 医 友愛会 園田病院        | 小 林 市 | 外 ,循内 ,整 ,脳外                     | 9   | 常勤・非常勤  |
| 190090 | 特医 浩然会 内村病院       | 小 林 市 | 精 ,内                             | 3   | 常勤      |
| 190091 | 医 友愛会 野尻中央病院      | 小 林 市 | 整 ,内                             | 4   | 常勤・非常勤  |
| 230155 | 医 三和会 池田病院        | 小 林 市 | 脳外 ,内 ,放射 ,外 ,リハビリ               | 6   | 常勤・非常勤  |
| 230167 | 介護老人保健施設さわやかセンター  | 小 林 市 | 内                                | 1   | 非常勤     |
| 230169 | 医 連理会 和田クリニック     | 小 林 市 | 内                                | 2   | 常勤      |
| 230173 | 医 高千穂会 大森内科       | 小 林 市 | 内                                | 2   | 常勤・非常勤  |
| 170049 | 五ヶ瀬町国民健康保険病院      | 五ヶ瀬町  | 内 ,外                             | 2   | 常勤      |
| 180070 | 高千穂町国保病院          | 高千穂町  | 内 ,透                             | 3   | 常勤      |
| 190088 | 日之影町国保病院          | 日之影町  | 内 ,整                             | 1   | 常勤      |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 27 年 9 月 15 日現在

|                 |                                                                                                                                                                                                                             |                                            |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 1. 譲渡物件         | 宮崎市阿波岐ヶ原町前田 263 番, 263 番<br>土地のみ: 2022.17m <sup>2</sup> ( 593.5 坪 )                                                                                                                                                         | <所有者 児湯医師会員<br>( 医 ) 崧雲会 林クリニック>           |
| 2. 譲渡又は<br>賃貸物件 | 宮崎市永楽町 22 番 3<br>土地 661.18m <sup>2</sup> ( 200.35 坪 )<br>建物 鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建<br>1 階 446.78m <sup>2</sup> 、<br>2 階 440.41m <sup>2</sup> } 971.13m <sup>2</sup> ( 294.28 坪 )<br>3 階 83.94m <sup>2</sup> 、<br>別途駐車場有り( 16 台 ) | <所有者 宮崎市郡医師会員><br><( 医 ) 社団篤信会<br>西村産婦人科跡> |
| 3. 経営譲渡         | 小林市南西方 49 番地 1<br>土地 1,991.34m <sup>2</sup> ( 603.43 坪 )<br>建物 鉄筋コンクリート造陸屋根 2 階建<br>1 階 471.41m <sup>2</sup> } 1,109.76m <sup>2</sup> ( 336.29 坪 )<br>2 階 638.35m <sup>2</sup> }<br>駐車場有り( 30 台 )                           | <所有者 西諸医師会員><br><( 医 ) 社団 産婦人科<br>生駒クリニック> |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の 9 時～12 時及び 13 時～17 時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101 番地( 宮崎県医師協同組合 )

0985-23-9100( 代 )・FAX 0985-23-9179

E-mail: isiky@miyazakimed.or.jp

あなたできますか？( 解答 )

|   |   |   |      |   |   |   |   |   |    |
|---|---|---|------|---|---|---|---|---|----|
| 1 | 2 | 3 | 4    | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| a | b | d | c, e | e | c | c | c | b | b  |

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 27年 9月 30日現在

| 10                                                |   |                                                                                                                                  | 月  |   |                                                                                                 |
|---------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1                                                 | 木 | 10 00 (日医)日医社会保険指導者講習会<br>15 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会<br>19 30 県産婦人科医会献金委員会                                                          | 16 | 金 | 12 30 全国医師国保組合連合会代表者会<br>13 20 全国医師国保組合連合会全体協議会<br>19 00 情報システム小委員会                             |
| 2                                                 | 金 | 10 00 (日医)日医社会保険指導者講習会<br>18 30 治験セミナー( TV 会議 )<br>19 00 日南串間地域医療構想調整会議                                                          | 17 | 土 | 16 00 県医師協同組合創立 30周年記念式典                                                                        |
| 3                                                 | 土 | 14 30 九医連医療事故調査制度担当事務連絡協議会<br>15 00 県警察医会総会・特別講演会<br>15 00 母体保護法指定医師研修会<br>16 00 九医連常任委員会<br>16 00 九医連各種協議会<br>18 10 九医連各種協議会報告会 | 18 | 日 | 13 00 (日医)日医「2020.30」推進懇話会                                                                      |
| 4                                                 | 日 |                                                                                                                                  | 19 | 月 | 13 00 公明党県本部政策要望懇談会<br>19 00 医療従事者向け認知症対応力向上研修( TV 会議 )<br>19 00 在宅医療研修会企画小委員会<br>19 00 健康教育委員会 |
| 5                                                 | 月 | 19 00 医師国保組合理事会                                                                                                                  | 20 | 火 | 10 00 宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科外部評価( 訪問調査 )<br>18 20 医協打合せ会<br>19 00 第 18回常任理事協議会                       |
| 6                                                 | 火 | 18 00 治験審査委員会<br>19 00 第 1回常任理事協議会                                                                                               | 21 | 水 | 14 30 都道府県医師会学校保健担当事務連絡協議会( 日医 TV 会議参加 )                                                        |
| 7                                                 | 水 | 14 00 みやざき愛の献血運動推進県民大会                                                                                                           | 22 | 木 | 15 00 (日医)日医医療 IT 委員会                                                                           |
| 8                                                 | 木 | 19 30 県産婦人科医会常任理事会                                                                                                               | 23 | 金 | 12 20 県精神保健福祉大会<br>19 00 医療安全対策セミナー( TV 会議 )<br>19 00 宮崎市郡医師会 10月例会並びにしののめ医学会特別講演会              |
| 9                                                 | 金 | 14 00 (日医)日医勤務医委員会<br>16 30 小児救急医療電話相談事業運営協議会                                                                                    | 24 | 土 | 10 00 全国医師会勤務医部会連絡協議会<br>15 00 学校医部会総会・医学会<br>16 00 病院部会・医療法人部会合同研修会                            |
| 10                                                | 土 | 14 30 産業医研修会( 実地 )<br>16 30 九州医師協同組合連合会通常総会<br>18 00 宮崎江南病院創立 60周年記念講演会・記念式典及び祝賀会                                                | 25 | 日 | 12 00 唐澤祥人先生旭日大綬章受章祝賀会                                                                          |
| 11                                                | 日 | 九州医師協同組合連合会通常総会                                                                                                                  | 26 | 月 | 19 00 広報委員会                                                                                     |
| 12                                                | 月 | ( 体育の日 )                                                                                                                         | 27 | 火 | 18 00 九州地方社会保険医療協議会<br>宮崎部会<br>18 15 医協理事会<br>19 00 第 19回常任理事協議会                                |
| 13                                                | 火 | 18 30 第 8 回全理事協議会<br>19 00 宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇談会                                                                               | 28 | 水 | 15 00 労災診療指導委員会<br>18 30 県産業保健連絡協議会等                                                            |
| 14                                                | 水 | 15 00 (日医)日医地域医療対策委員会<br>16 00 支払基金幹事会<br>19 00 県内科医会学術委員会                                                                       | 29 | 木 | 19 00 産業医研修会                                                                                    |
| 15                                                | 木 | 10 30 (日医)産業保健活動推進全国会議<br>19 00 広報委員会                                                                                            | 30 | 金 | 15 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会                                                                         |
| 都合により、変更になることがあります。<br>行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。 |   |                                                                                                                                  | 31 | 土 | 14 00 女性医師支援センター事業九州ブロック会議                                                                      |

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 27 年 9 月 30 日現在

| 11                                               |   |                                                                         |                   | 月  |   |                                                                                                                |                  |
|--------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------|-------------------|----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 1                                                | 日 | 13                                                                      | 00 (日医)日医設立記念医学大会 | 15 | 日 | 九医学分科会・記念行事                                                                                                    |                  |
| 2                                                | 月 | 宮崎銀行との懇談会                                                               |                   | 16 | 月 | 19                                                                                                             | 30 広報委員会         |
| 3                                                | 火 | (文化の日)<br>9 00 県医親善ゴルフ大会                                                |                   | 17 | 火 | 19                                                                                                             | 00 第 21回常任理事協議会  |
| 4                                                | 水 |                                                                         |                   | 18 | 水 |                                                                                                                |                  |
| 5                                                | 木 | 14 00 女性医師支援講座<br>19 00 産業医研修会<br>19 30 県産婦人科医会常任理事会                    |                   | 19 | 木 | 14 00 産業医研修会<br>14 00 (日医)日医公衆衛生委員会<br>18 30 医師協同組合会計監査<br>19 00 吉村学教授就任記念祝賀会                                  | ↑<br>国           |
| 6                                                | 金 |                                                                         |                   | 20 | 金 | 19 00 広報委員会                                                                                                    |                  |
| 7                                                | 土 | 9 00 ICLS指導者養成ワークショップ<br>16 00 全国医師協同組合連合会通常総会<br>16 00 県整形外科医会研修会      |                   | 21 | 土 | 14 30 産業医研修会( TV 会議 )                                                                                          | ↑<br>保           |
| 8                                                | 日 | 8 30 全国医師協同組合連合会通常総会<br>ACLS研修会                                         |                   | 22 | 日 | 9 00 医療メディエーター養成研<br>修会基礎編                                                                                     |                  |
| 9                                                | 月 |                                                                         |                   | 23 | 月 | ( 勤労感謝の日 )<br>9 00 医療メディエーター養成研<br>修会基礎編                                                                       | ↑<br>審<br>査<br>社 |
| 10                                               | 火 | 18 00 治験審査委員会<br>19 00 産業医研修会<br>19 00 第 20回常任理事協議会                     |                   | 24 | 火 | 19 00 第 9 回全理事協議会                                                                                              |                  |
| 11                                               | 水 | 16 00 自見はなこ日医参与来県<br>支払基金幹事会                                            |                   | 25 | 水 | 15 00 自見はなこ日医参与来県<br>労災診療指導委員会                                                                                 | ↑<br>保<br>審      |
| 12                                               | 木 | 14 00 (日医)日医生命倫理懇談会                                                     |                   | 26 | 木 | 15 00 (日医)日医予防接種・感染<br>症危機管理対策委員会                                                                              |                  |
| 13                                               | 金 | 16 00 九医連常任委員会<br>17 00 九医連臨時委員総会<br>19 00 県外科医会秋期講演会<br>19 00 産業医研修会   |                   | 27 | 金 | 15 00 (日医)日医医療秘書認定試<br>験委員会<br>18 00 九州地方社会保険医療協議<br>会宮崎部会                                                     | ↓<br>査           |
| 14                                               | 土 | 10 00 九医連委員・九州各県役員合同<br>協議会<br>13 00 九州医師会総会・医学会<br>13 30 世界糖尿病デー市民公開講座 |                   | 28 | 土 | 13 30 県産婦人科医会新生児蘇生法<br>講習会<br>13 30 県訪問看護ステーション連絡協議<br>会総会・研修会<br>15 00 九州学校検診協議会専門委員会<br>17 00 九州各県学校保健担当理事者会 |                  |
| 都合により、変更になることがあります。<br>行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます |   |                                                                         |                   | 29 |   |                                                                                                                |                  |
|                                                  |   |                                                                         |                   | 30 | 月 | 18 30 県医監事監査                                                                                                   |                  |

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E -Mail genko @ m iyazakim ed.or.jp

FAX 0 9 8 5 - 2 7 - 6 5 5 0

TEL 0 9 8 5 - 2 2 - 5 1 1 8

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注 FAX の際は、このページを切り取り、  
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX 0 9 8 5 - 2 7 - 6 5 5 0

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お名前

ご所属

TEL

FAX

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位 日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診 各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                                | 演 題                                                                                                                         | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                                | 単位<br>CC<br>がん検診                      |
|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 第 11回 治 験 セ ミ<br>ナ ー<br>10月 2 日(金)<br>18 00～ 20 20<br>県医師会館             | 講演 1：治験に係るホットな話題— 2年医法研補償ガイドライン改訂を受けて<br>J& T 治験塾長 法学博士 辻 純一郎<br>講演 2：治験審査委員及び治験裁判代理人として思うこと<br>大阪大学治験審査委員会委員 弁護士<br>鵜飼 万貴子 | 主催<br>宮崎県医師会治験促進センター機構<br>☎ 0985-31-5871           | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>4<br>7<br>8    |
| 延 岡 医 学 会 学 術<br>講演会<br>10月 2 日(金)<br>19 00～ 20 45<br>ホテルメリージュ<br>延岡    | 当院でのせん妄への取組みと向精神薬の使用意図<br>宮崎県立延岡病院心療内科・精神科長<br>北 英二郎                                                                        | 共催<br>延岡医学会<br>大塚製薬(株)<br>☎ 0985-24-2287           | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>8<br>9<br>13   |
| 第 23回 宮 崎 県 警<br>察医会総会・特別<br>講演会<br>10月 3 日(土)<br>15 30～ 17 00<br>県医師会館 | アルコールの基礎知識と飲酒死亡事故<br>熊本大学大学院生命科学研究部環境社会医学部門<br>環境生命科学講座法医学分野教授 西谷 陽子                                                        | 主催<br>宮崎県警察医会<br>(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118 | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>11<br>17<br>32 |

| 名称・日時・場所                                                                         | 演 題                                                                                                                                         | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                                                        | 単位<br>CC<br>がん検診                          |
|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 宮崎インスリン療<br>法研究会<br>10月 3 日(土)<br>19 00～ 20 30<br>シェラトン・グラ<br>ンデ・オーシャン<br>リゾート   | SWOT分析から考えるインスリン製剤の選択<br>金沢大学医薬保健研究域脳・肝インターフェース<br>メディシン研究センター准教授 太田 嗣人                                                                     | 共催<br>宮崎インスリン療法研究会<br>日本イーライリリー(株)<br>☎ 080-2439-6419                      | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>2<br>9<br>15       |
| 西都市西児湯医師<br>会学術講演会<br>10月 5 日(月)<br>19 00～ 21 00<br>ホテルプリムロー<br>ズ西都              | 講演 1：歯科からの提言<br>中崎歯科医院長 中崎 裕<br>講演 2：第 1 回日本骨粗鬆症学会を振り返って<br>三財病院副院長 松本 英裕                                                                   | 共催<br>西都市西児湯医師会<br>☎ 0983-43-1687<br>西都児湯歯科医師会<br>西都市西児湯内科医会<br>アステラス製薬(株) | 単位<br>2<br><br>CC<br>10<br>13<br>77<br>82 |
| 南那珂医師会生涯<br>教育医学会<br>10月 7 日(水)<br>19 00～ 20 10<br>南那珂医師会館                       | 変わる！変える！2 型糖尿病治療<br>鹿児島大学病院糖尿病・内分泌内科副科長<br>出口 尚寿                                                                                            | 共催<br>南那珂医師会<br>☎ 0987-23-3411<br>小野薬品工業(株)<br>アストラゼネカ(株)                  | 単位<br>1<br><br>CC<br>76                   |
| 第 98 回 江 南 医 療<br>連 携 の 会 ・ 症 例<br>検 討 会<br>10月 8 日(木)<br>19 00～ 20 30<br>宮崎江南病院 | 脊髄病変のMRI<br>宮崎江南病院健康管理センター長 杜若 陽祐<br>最近の胃手術症例<br>同 外科医員 下之蘭 高将<br>後腹膜炎血腫を合併した A 群溶血性連鎖球菌(Streptococcus pyogenes)による敗血症の 1 例<br>同 内科医長 田中 弦一 | 主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院<br>☎ 0985-52-4004                        | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>53<br>63           |

| 名称・日時・場所                                                             | 演 題                                                                                 | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                                              | 単位<br>CC<br>がん検診                        |
|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 木曜会学術講演会<br>10月 8 日(木)<br>19 15～ 20 45<br>都 城 ロ イ ヤ ル<br>ホテル         | 喘息治療のターゲットは気道炎症か？気流制限か？<br>昭和大学医学部内科学講座<br>呼吸器・アレルギー内科学部門教授 相良 博典<br>参加費 500円       | 共催<br>木曜会<br>杏林製薬(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎ 0986-22-0711    | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>1<br>46<br>79    |
| 都城市北諸県郡医<br>師会・病院部会合<br>同講演会<br>10月 9 日(金)<br>19 00～ 20 00<br>ホテル中山荘 | 今後の医療政策の行方―地域医療構想と地域包括ケア<br>システム―<br>板倉病院理事長 梶原 優                                   | 共催<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎ 0986-22-0711<br>都城市北諸県郡医師会病院部会             | 単位<br>1<br><br>CC<br>9<br>13            |
| 第 14 回『宮崎難治性<br>疼痛研究会』<br>10月 9 日(金)<br>19 15～ 20 30<br>宮崎観光ホテル      | 遷延性術後痛のtherapeutic window<br>岐阜大学麻酔科教授 飯田 宏樹                                        | 共催<br>宮崎難治性疼痛研究会<br>日本臓器製薬(株)<br>☎ 090-5480-0179<br>後援<br>宮崎県医師会 | 単位<br>1<br><br>CC<br>4<br>8             |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>10月 10 日(土)<br>14 30～ 16 30<br>県医師会館             | 基礎実地・生涯実地(3)メンタルヘルス対策<br>メンタルヘルス事例検討<br>九州電力株式会社統括産業医 藤代 一也<br>基礎研修・生涯研修の実地研修会 2 単位 | 主催<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                                   | 単位<br>2<br><br>CC<br>8<br>9<br>11<br>12 |

| 名称・日時・場所                                                                                    | 演 題                                                                                    | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                                                          | 単位<br>CC<br>がん検診                          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| (社)宮崎県精神科<br>診療所協会学術<br>講演会<br>10月10日(土)<br>18 50～ 20 00<br>宮崎観光ホテル                         | くらしの中で認知症を診ること<br>- 地域包括ケアを視野に入れて -<br>松本診療所ものわすれクリニック院長 松本 一生                         | 共催<br>(社)宮崎県精神科診療所協会<br>エーザイ(株)<br>☎ 0985-26-2676                            | 単位<br>1<br><br>CC<br>14<br>29             |
| 第1回宮崎「感染と<br>免疫」研究会<br>10月13日(火)<br>19 00～ 20 45<br>宮崎観光ホテル                                 | インフルエンザ感染の重症化機序に関する最新知見<br>徳島大学疾患酵素学研究センター<br>生体防御・感染症病態代謝研究部門特任教授<br>木戸 博<br>参加費 500円 | 共催<br>宮崎「感染と免疫」研究会<br>大正富山医薬品(株)<br>☎ 090-5997-7223                          | 単位<br>1<br><br>CC<br>28<br>46             |
| 第2回日向糖尿病<br>カンファレンス<br>SGLT 阻害剤適正<br>使用のために<br>10月14日(水)<br>19 30～ 21 00<br>ホテルベルフォー<br>ト日向 | 体重を増加させない糖尿病治療を目指して—SGLT2阻害<br>薬への期待—(仮)<br>大分大学医学部内分泌代謝・膠原病・腎臓<br>内科学講座講師<br>加隈 哲也    | 共催<br>日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>小野薬品工業(株)<br>アストラゼネカ(株) | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>23<br>76<br>82     |
| 西諸医師会・西諸<br>内科医会合同学術<br>講演会<br>10月15日(木)<br>18 45～ 20 45<br>ガーデンベルズ<br>小林                   | SGLT2阻害薬への期待—2型糖尿病の新たな治療戦略—<br>高木病院内科部長(糖尿病代謝・内分泌)<br>小野 恭裕                            | 共催<br>西諸医師会<br>☎ 0984-23-2113<br>西諸内科医会<br>田辺三菱製薬(株)<br>第一三共(株)              | 単位<br>2<br><br>CC<br>23<br>74<br>75<br>76 |

| 名称・日時・場所                                                            | 演 題                                                    | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                                      | 単位<br>CC<br>がん検診             |
|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------|
| 第 2 回 脳 卒 中 懇<br>話会<br>10月 15日(木)<br>19 00～ 20 30<br>延岡市医師会病院       | 脳梗塞ねたきり半減に向けて<br>宮崎大学医学部附属病院救命救急センター長<br>落合 秀信         | 共催<br>脳卒中懇話会延岡医学会<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎ 0982-21-1300   | 単位<br>1<br>CC<br>13<br>14    |
| 宮崎県皮膚科医会<br>学術講演会<br>10月 15日(木)<br>19 00～ 20 30<br>M R T -m i c c   | ざ瘡治療の展望と工夫<br>東北大学大学院医学系研究科皮膚科学分野准教授<br>山崎 研志          | 共催<br>宮崎県皮膚科医会<br>(株)ポーラファルマ<br>☎ 092-262-7327           | 単 位<br>1.5<br>CC<br>26<br>82 |
| 宮崎大学地域医療<br>連携セミナー<br>10月 16日(金)<br>18 30～ 20 30<br>宮崎大学医学部<br>附属病院 | 最大で最強の地域包括ケア病棟<br>地域包括ケア病棟協会長<br>仲井 培雄                 | 主催<br>宮崎大学医学部附属病<br>院地域医療連携センター<br>☎ 0985-85-1909        | 単位<br>2<br>CC<br>13          |
| 延岡医学会学術<br>講演会<br>10月 16日(金)<br>19 00～ 20 30<br>延岡ロイヤル<br>ホテル       | 日常診療で出会う不整脈の対応と治療<br>宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御学分野助教<br>井手口 武史 | 共催<br>延岡医学会<br>第一三共(株)<br>☎ 0985-23-5710<br>後援<br>延岡内科医会 | 単位<br>1<br>CC<br>11<br>78    |

| 名称・日時・場所                                                              | 演 題                                                                                               | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                                                           | 単位<br>CC<br>がん検診                      |
|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 南那珂医師会地域<br>保健医学会<br>10月16日(金)<br>19 00～20 00<br>南那珂医師会館              | 医療機関のコンプライアンスを考える<br>日本医学ジャーナリスト協会幹事<br>中外製薬株式会社 酒井 雄二                                            | 主催<br>南那珂医師会<br>☎ 0987-23-3411                                                | 単位<br>1<br><br>CC<br>8                |
| 第100回記念宮崎市<br>郡医師会病院心臓<br>病研究会<br>10月20日(火)<br>19 00～20 30<br>宮崎観光ホテル | 心不全診療と研究の進歩<br>東京大学大学院医学系研究科循環器内科学教授<br>小室 一成                                                     | 共催<br>宮崎市郡医師会病院心臓病研究会<br>武田薬品工業(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119    | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>9<br>11<br>74  |
| 延岡心臓病カンファ<br>レンス<br>10月20日(火)<br>19 00～20 30<br>県立延岡病院                | ペースメーカー植込み患者死亡時の処置について<br>県立延岡病院慢性心不全認定看護師 荒竹 亜希子<br>VT/NFを使ったACSの症例<br>県立延岡病院循環器内科医長 福島 隆一郎<br>他 | 共催<br>延岡心臓病カンファレンス<br>フクダ電子(株)<br>グッドウィル(株)<br>☎ 0982-21-8105<br>後援<br>延岡市医師会 | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>18<br>61<br>81 |
| 都城市北諸県郡医<br>師会内科医会学術<br>講演会<br>10月22日(木)<br>19 00～20 30<br>ホテル中山荘     | Male LUTS /BPH薬物療法の新たな展開<br>川原 賢・泌尿器科クリニック院長 川原 和也                                                | 共催<br>都城市北諸県郡医師会内科医会<br>日本新薬(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎ 0986-22-0711      | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>9<br>65<br>82  |

| 名称・日時・場所                                                                   | 演 題                                                                                                                                                                                               | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                                                             | 単位<br>CC<br>がん検診                                      |
|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 宮崎市郡医師会 10<br>月例会・しのめ<br>医学会特別講演会<br>10月 23日(金)<br>19 00～ 19 45<br>宮崎観光ホテル | 悪性黒色腫(メラノーマ)の診断と治療<br>宮崎大学医学部皮膚科教授 天野 正宏                                                                                                                                                          | 主催<br>宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434                                                 | 単位<br>0.5<br><br>CC<br>9                              |
| 延岡医学会学術<br>講演会<br>10月 23日(金)<br>19 00～ 20 30<br>ホテルメリージュ<br>延岡             | 新しい選択肢を手に入れた日本の認知症治療<br>香川大学医学部精神神経医学講座教授 中村 祐                                                                                                                                                    | 共催<br>延岡医学会<br>第一三共(株)<br>☎ 0985-23-5710<br>後援<br>延岡内科医会                        | 単位<br>1<br><br>CC<br>29<br>68                         |
| 宮崎市郡内科医会<br>学術講演会<br>10月 23日(金)<br>19 00～ 20 00<br>ガーデンテラス<br>宮崎           | SGLT 2 阻害薬の効果と使用法の提案—行動変容と療養支<br>援から考える—<br>京都府立医科大学大学院医学研究科<br>内分泌・代謝内科学講師 山崎 真裕                                                                                                                 | 共催<br>宮崎市郡内科医会<br>小野薬品工業(株)<br>アストラゼネカ(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434 | 単位<br>1<br><br>CC<br>76<br>82                         |
| 第 53 回宮崎県スポ<br>ーツ学会<br>10月 24日(土)<br>15 00～ 19 00<br>県医師会館                 | スポーツ疾患に共通する身体的機能的特徴とは？<br>清泉クリニック整形外科<br>スポーツ医学センター施設長 脇元 幸一<br>障がい者スポーツ医科学研究から理学療法への応用<br>和歌山県立医科大学<br>リハビリテーション医学講座教授 田島 文博<br>循環器疾患からみた若年者の運動スポーツ<br>愛知県済生会リハビリテーション病院長<br>長嶋 正實<br>参加費 1,000円 | 共催<br>宮崎県スポーツ学会<br>久光(株)<br>後援<br>宮崎県医師会<br>(連絡先)<br>宮崎大学整形外科<br>☎ 0985-85-0986 | 単位<br>3<br><br>CC<br>12<br>19<br>33<br>44<br>60<br>62 |

| 名称・日時・場所                                                                | 演 題                                                                                      | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                                                 | 単位<br>CC<br>がん検診                     |
|-------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 宮崎市郡産婦人科<br>医会 10 月例会<br>10 月 26 日(月)<br>18 45～ 20 00<br>宮崎観光ホテル        | 安心・安全かつ有効に O C L E P を使うために - 新しいガイ<br>ドラインから見たベネフィットとリスク管理 -<br>東京歯科大学市川総合病院産婦人科教授 高松 潔 | 共催<br>宮崎市郡産婦人科医会<br>バイエル薬品(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434 | 単位<br>1<br><br>CC<br>8<br>9          |
| 宮崎市郡外科医会<br>10 月例会<br>10 月 26 日(月)<br>19 00～ 20 00<br>宮崎観光ホテル           | 画像診断の最近の進歩<br>宮崎大学医学部病態解析医学講座<br>放射線医学分野教授 平井 俊範                                         | 主催<br>宮崎市郡外科医会<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434                | 単位<br>1<br><br>CC<br>1<br>9          |
| 宮崎痛みを考える<br>会(特別講演)<br>10 月 28 日(水)<br>19 00～ 20 15<br>宮崎観光ホテル          | 腰痛の診断と治療のピットフォール<br>弘前大学大学院医学研究科整形外科教授<br>石橋 恭之<br>参加費 1,000 円                           | 共催<br>宮崎痛みを考える会<br>久光製薬(株)<br>☎ 099-219-9891                        | 単位<br>1<br><br>CC<br>9<br>60         |
| 佐土原医師会学術<br>講演会<br>10 月 28 日(水)<br>19 00～ 20 30<br>シーガイアコンベン<br>ションセンター | 当院でのせん妄への取組みと向精神薬の使用意図<br>宮崎県立延岡病院心療内科・精神科長 北 英二郎                                        | 共催<br>佐土原医師会<br>M S D (株)<br>☎ 080-2406-9725                        | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>2<br>20<br>29 |

| 名称・日時・場所                                                             | 演 題                                                                                                   | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                                                   | 単位<br>CC<br>がん検診                      |
|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 西都市西児湯内科<br>医会学術講演会<br>10月 29日(木)<br>19 00～ 20 10<br>ホテルプリムロー<br>ズ西都 | 臨床医のための不眠診療のコツ<br>熊本市立熊本市民病院首席診療部長・神経内科部長<br>橋本 洋一郎                                                   | 共催<br>西都市西児湯内科医会<br>西都市西児湯医師会<br>☎ 0983-43-1687<br>エーザイ(株)            | 単位<br>1<br><br>CC<br>20<br>69         |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>10月 29日(木)<br>19 00～ 21 00<br>県医師会館              | 生涯更新(1)労働安全関係法規と関係通達の改正<br>この頃の産業保健の動向―通達と報道発表資料から―<br>西部労働衛生コンサルタント事務所代表<br>矢崎 武<br>生涯研修の更新研修会 2 単位  | 共催<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター                      | 単位<br>2<br><br>CC<br>3<br>7<br>8<br>9 |
| 第 62回都城心臓血<br>管懇話会<br>10月 29日(木)<br>19 10～ 20 40<br>ホテル中山荘           | 当院でのNOACの使用経験<br>えとう循環器科・内科院長 江藤 琢磨<br>冠動脈インターベンションとこれからの抗血栓治療<br>熊本病院副院長兼心臓血管センター<br>循環器内科上席部長 中尾 浩一 | 共催<br>都城心臓血管懇話会<br>バイエル薬品(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎ 0986-22-0711 | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>73<br>74<br>75 |
| 第 49回 宮 崎 県 核<br>医学研究会<br>10月 30日(金)<br>18 30～ 20 10<br>宮崎観光ホテル      | 認知症における最新画像診断<br>近畿大学医学部附属病院早期認知症センター教授<br>石井 一成<br>参加費 500円                                          | 共催<br>宮崎県核医学研究会<br>日本メジフィックス(株)<br>☎ 099-805-2005                     | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>13<br>29<br>84 |

| 名称・日時・場所                                                        | 演 題                                                                                                                  | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                                      | 単位<br>CC<br>がん検診                      |
|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 第 165 回 宮崎県眼科医会講習会<br>10 月 31 日(土)<br>16 20～ 19 10<br>K I T E N | 特別講演 1：緑内障現場診療での「アラッ！」<br>吉川眼科クリニック院長 吉川 啓司<br>特別講演 2：分子標的薬の意義 病理の理解と使い方<br>日本赤十字社和歌山医療センター眼科部長 大谷 篤史<br>参加費 3,000 円 | 共催<br>宮崎県眼科医会<br>☎ 0985-28-1015<br>日本アルコン(株)             | 単位<br>2<br><br>CC<br>36               |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>11 月 5 日(木)<br>19 00～ 21 00<br>延岡地域職業訓練センター     | 生涯更新(1)労働安全関係法規と関係通達の改正<br>この頃の産業保健の動向—通達と報道発表資料から—<br>西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武<br>生涯研修の更新研修会 2 単位                    | 共催<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター         | 単位<br>2<br><br>CC<br>3<br>7<br>8<br>9 |
| 延岡医学会学術講演会<br>11 月 6 日(金)<br>19 00～ 20 15<br>ホテルメリージュ<br>延岡     | トルバブタンの可能性を探る<br>公立陶生病院循環器内科副院長 味岡 正純                                                                                | 共催<br>延岡医学会<br>大塚製薬(株)<br>☎ 0985-24-2287<br>後援<br>延岡内科医会 | 単位<br>1<br><br>CC<br>24<br>45         |
| 宮崎県整形外科医会研修会<br>11 月 7 日(土)<br>16 00～ 18 00<br>県医師会館            | データをみるために必要な統計の基礎<br>宮崎県立看護大学看護学部看護学科教授 中尾 裕之                                                                        | 主催<br>宮崎県整形外科医会<br>(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118     | 単位<br>1<br><br>CC<br>2<br>9           |

| 名称・日時・場所                                                      | 演 題                                                                                                         | 主催・共催・後援<br>= 連絡先                                                                    | 単位<br>CC<br>がん検診                       |
|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| “皮膚の日”講演会<br>11月 8 日(日)<br>14 00~ 15 30<br>宮日会館               | 忘れてほしくない, 正しく知ってほしい病気<br>- 成人 T 細胞白血病・リンパ腫(ATL or ATLL)-<br>青木皮膚科医師 出盛 允啓                                   | 共催<br>宮崎県皮膚科医会<br>日本臨床皮膚科医会<br>後援<br>宮崎県医師会<br>他<br>(連絡先)<br>青木皮膚科<br>☎ 0985-23-2011 | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>1<br>2<br>9     |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>11月 10日(火)<br>19 00~ 21 00<br>県医師会館       | 生涯専門(4)メンタルヘルス対策<br>担当者として必要なカウンセリングの基礎を身につける<br>産業保健相談員メンタルヘルス対策促進員<br>(産業カウンセラー) 島原 竜一<br>生涯研修の専門研修会 2 単位 | 共催<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター                                     | 単位<br>2<br><br>CC<br>1<br>6<br>8<br>12 |
| 第 2 回宮崎脊椎の<br>痛みを学ぶ会<br>11月 11日(水)<br>19 00~ 20 30<br>宮崎観光ホテル | 腰下肢痛に対する薬剤選択の治療指針<br>九州大学病院整形外科講師 播広谷 勝三                                                                    | 共催<br>宮崎県臨床整形外科医会<br>ファイザー(株)<br>☎ 092-281-7031<br>エーザイ(株)                           | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>60<br>62<br>63  |
| 宮崎県内科医会学<br>術講演会<br>11月 13日(金)<br>18 45~ 20 40<br>宮崎観光ホテル     | 2 型糖尿病に対するロスバスタチンの有用性<br>宮崎大学医学部内科学講座<br>神経呼吸内分泌代謝学分野助教 上野 浩晶<br>末梢動脈からみた糖尿病治療の重要性<br>小倉記念病院循環器内科部長 曾我 芳光   | 共催<br>宮崎県内科医会<br>アストラゼネカ(株)<br>☎ 092-283-8150<br>塩野義製薬(株)                            | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>11<br>75<br>76  |

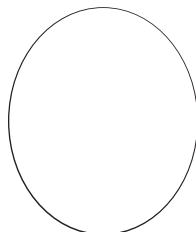
| 名称・日時・場所                                                                            | 演 題                                                                                                                                                         | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                                                                 | 単位<br>CC<br>がん検診                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>11月 13日(金)<br>19 00～ 21 00<br>延岡市医師会館                           | 生涯専門(3)健康管理<br>職場における糖尿病対策<br>都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展<br>生涯研修の専門研修会 2 単位                                                                                        | 共催<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター                                    | 単位<br>2<br><br>CC<br>8<br>9<br>11<br>76   |
| 平成 27 年度日本温<br>泉気候物理学会<br>九州地区温泉療法<br>医研修会<br>11月 14日(土)<br>15 00～ 18 00<br>宮崎観光ホテル | 講演 : 入浴死の現状とその予防法<br>鹿児島大学医学部法医学教授 小片 守<br>講演 : 臨床医・警察医の立場からみた入浴死<br>大西医院長 大西 雄二<br>講演 : 入浴にかかわる疾病<br>—レジオネラ感染症を中心に—<br>宮崎大学医学部免疫感染症分野講師 長友 安弘<br>(事前申込み必要) | 主催<br>日本温泉気候物理学会九州地区会<br>後援<br>宮崎県医師会<br>宮崎県警察医会<br>(連絡先)<br>坂田病院<br>☎ 0983-22-3426 | 単位<br>2<br><br>CC<br>11<br>12<br>16<br>44 |
| 都城市北諸県郡医<br>師会学校医部会講<br>演会<br>11月 14日(土)<br>15 00～ 16 30<br>都城市北諸県郡<br>医師会館         | 発達障害の考え方と対応<br>—宮崎市総合発達支援センターの経験から—<br>宮崎市総合発達支援センター「おおぞら」所長 大庭 健一                                                                                          | 主催<br>都城市北諸県郡医師会学校医部会<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎ 0986-22-0711                      | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>14<br>22<br>72     |
| 江南医療連携の会<br>特別講演会<br>11月 14日(土)<br>16 00～ 17 30<br>県医師会館                            | 一般講演 消化器内視鏡の今昔<br>宮崎江南病院放射線科医長 伊藤 泰教<br>特別講演 頭部画像診断の最前線<br>宮崎大学医学部病態解析医学講座<br>放射線医学分野教授 平井 俊範                                                               | 主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院<br>☎ 0985-52-4004                                 | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>32<br>50<br>78     |

| 名称・日時・場所                                                      | 演 題                                                                                              | 主催・共催・後援<br>＝ 連絡先                                                  | 単位<br>CC<br>がん検診              |
|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 第 130 回西日本整形・災害外科学会<br>11 月 14 日(土)<br>宮崎市民プラザ<br>参加費 8,000 円 | 高齢者骨粗鬆症の特徴と週 1 回テリパラチド治療<br>—骨折治癒促進効果を中心に—( 12 00~ 13 00)<br>北里大学メディカルセンター病院整形外科部長<br>成瀬 康治      | 主催<br>第 130 回西日本整形・災害外科学会<br>( 連絡先 )<br>宮崎大学整形外科<br>☎ 0985-85-0986 | 単位<br>1<br><br>CC<br>57<br>77 |
|                                                               | 多施設研究の臨床データから考える関節リウマチ薬物治療における M TX とアダリムマブの効果的な使用法<br>( 12 00~ 13 00)<br>豊橋市民病院リウマチ科部長<br>平野 裕司 | 主催<br>第 130 回西日本整形・災害外科学会<br>( 連絡先 )<br>宮崎大学整形外科<br>☎ 0985-85-0986 | 単位<br>1<br><br>CC<br>8<br>61  |
|                                                               | これからのリハビリテーションと整形外科医への期待<br>( 15 30~ 16 30)<br>昭和大学医学部リハビリテーション医学教室教授<br>水間 正澄                   | 主催<br>第 130 回西日本整形・災害外科学会<br>( 連絡先 )<br>宮崎大学整形外科<br>☎ 0985-85-0986 | 単位<br>1<br><br>CC<br>1<br>6   |
| 11 月 15 日(日)<br>宮崎市民プラザ<br>参加費 8,000 円                        | 患者の一言から始まった脊椎研究( 10 00~ 11 00)<br>慶応義塾大学医学部整形外科学教室教授<br>松本 守雄                                    | 主催<br>第 130 回西日本整形・災害外科学会<br>( 連絡先 )<br>宮崎大学整形外科<br>☎ 0985-85-0986 | 単位<br>1<br><br>CC<br>5<br>60  |
|                                                               | 新しいガイドラインにしたがった骨粗鬆症治療—薬剤選択を中心に—( 12 20~ 13 20)<br>鳥取大学医学部保健学科教授<br>萩野 浩                          | 主催<br>第 130 回西日本整形・災害外科学会<br>( 連絡先 )<br>宮崎大学整形外科<br>☎ 0985-85-0986 | 単位<br>1<br><br>CC<br>3<br>77  |

| 名称・日時・場所                                                      | 演 題                                                                                                                                                                                                                                             | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                                                | 単位<br>CC<br>がん検診                                         |
|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 第 130 回西日本整形・災害外科学会<br>11 月 15 日(日)<br>宮崎市民プラザ<br>参加費 8,000 円 | 慢性疼痛患者の生活と生きがいを取り戻す<br>—リハと認知行動療法を駆使して—( 12 20～ 13 20)<br>新潟大学医歯学総合病院<br>総合リハビリテーションセンター病院教授<br>木村 慎二                                                                                                                                           | 主催<br>第 130 回西日本整形・災害外科学会<br>( 連絡先 )<br>宮崎大学整形外科<br>☎ 0985-85-0986 | 単位<br>1<br>CC<br>60<br>73                                |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>11 月 19 日(木)<br>14 00～ 16 00<br>県医師会館     | 生涯専門(4)メンタルヘルス対策<br>職場で使える！アサーション<br>都城新生病院医師<br>生涯研修の専門研修会 2 単位<br>前原 正法                                                                                                                                                                       | 共催<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター                   | 単位<br>2<br>CC<br>3<br>6<br>8<br>13                       |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>11 月 21 日(土)<br>14 30～ 18 30<br>県医師会館     | 基礎後期(3)健康管理<br>生涯専門(3)健康管理<br>職場における効率的な健康管理の進め方( 仮 )<br>琉球大学大学院医学研究科<br>衛生学・公衆衛生学講座教授 青木 一雄<br>基礎後期(1)総論<br>生涯更新(1)労働衛生関係法規と関連通達の改正<br>労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度( 仮 )<br>北里大学名誉教授 相澤 好治<br>基礎研修の後期研修会 4 単位<br>生涯研修の更新研修会・専門研修会 2 単位<br>参加費 2,000 円 | 主催<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                                     | 単位<br>4<br>CC<br>1<br>3<br>6<br>7<br>8<br>11<br>12<br>13 |

| 名称・日時・場所                                                        | 演 題                                                                                                                                                                                                                   | 主催・共催・後援<br>＝ 連 絡 先                                                               | 単位<br>CC<br>がん検診                                |
|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 第 21回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー<br>12月 5 日(土)<br>15 45～ 19 00<br>宮崎観光ホテル | 講演 1：これからの運動器診療科の役割<br>—がん診療科としての整形外科—<br>帝京大学医学部整形外科学講座主任教授<br>河野 博隆<br>講演 2：脊柱靱帯骨化症のトピックス<br>東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科<br>先端医療開発学講座整形外科学分野教授<br>大川 淳<br>講演 3：膝関節動態解析の新展開<br>愛媛大学大学院医科学系研究科<br>医学専攻器官・形態領域整形外科学教授<br>三浦 裕正 | 共催<br>ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー<br>中外製薬(株)<br>☎ 0985-20-8118                              | 単位<br>3<br>CC<br>1<br>2<br>59<br>61<br>73<br>81 |
| 第 71回宮崎整形外科懇話会<br>12月 12日(土)<br>18 00～ 19 00<br>県医師会館           | 骨・関節術後感染の予防と治療<br>聖マリアンナ医科大学川崎市立多摩病院整形外科<br>教授 松下 和彦<br>参加費 1,000円                                                                                                                                                    | 共催<br>宮崎整形外科懇話会<br>宮崎県整形外科医会<br>大正富山医薬品(株)<br>(連絡先)<br>宮崎大学整形外科<br>☎ 0985-85-0986 | 単位<br>1<br>CC<br>8<br>28                        |
| 宮崎市郡内科医会<br>学術講演会<br>12月 15日(火)<br>19 00～ 20 30<br>宮崎観光ホテル      | 保存期腎性貧血に対するESA製剤の有用性(仮)<br>宮崎江南病院腎疾患・透析部長 山田 和弘<br>腎機能維持の為に血糖管理の重要性(仮)<br>仁医会病院院長 阿部 克成                                                                                                                               | 共催<br>宮崎市郡内科医会<br>協和発酵キリン(株)<br>☎ 0985-22-8801                                    | 単位<br>1.5<br>CC<br>73<br>76<br>84               |

## 診療メモ



## C型肝炎の新しい経口剤治療について

宮崎大学医学部附属病院 肝疾患センター <sup>なが</sup>永 <sup>た</sup>田 <sup>けん</sup>賢 <sup>じ</sup>治

平素より県医師会の先生方には肝疾患診療に関しまして多大なるご支援をいただき、この場をお借りしまして感謝申し上げます。さて、今回は最近のC型肝炎治療薬についてご紹介いたします。これまでのC型肝炎治療はインターフェロン(Interferon; IFN)がその中心でしたが、近年C型肝炎に対する抗ウイルス療法が飛躍的に進歩しており、治療法が大きく変わりつつあります。

国内のC型肝炎患者のHCV遺伝子型は1型が7割、2型が3割を占めていますが、1型はIFN抵抗性であり、2006年から導入されているペグインターフェロン+リバビリン療法では48週間の治療でも治療効果が40%前後でした。しかもIFNの副作用のために治療を受けた患者さんの3割近くの方が治療途中で減量または中止されており、副作用を懸念され治療を躊躇している患者さんも多くおられました。近年、IFNを使用しない新規抗ウイルス薬が開発され、これらの薬剤はウイルスの複製に必要な酵素をターゲットにした薬剤で大きくNS3/4プロテアーゼ阻害薬、NS5A、NS5Bポリメラーゼ阻害薬に分類されます。ウイルスは遺伝子変異をおこしやすく薬剤に対する耐性をもつようになるため薬剤を単剤ではなく併用することにより耐性ウイルスの出現を抑制し抗ウイルス効果を増強することができるようになりました。

国内でのIFNフリーの治療は2014年9月にNS3/4プロテアーゼ阻害薬であるアスナプレビル(商品名: スンベプラ)とNS5A阻害薬のダクタスビル(商品名: ダクルインザ)の併用療法がgenotype 1型の症例に対して保険適用となり、始まりました。国内における臨床試験では、24週間の内服治療による最終的なウイルス陰性化率は84.7%でした。この成績は患者さんの年齢、性別、ウイルス量などに関係なく高いSVR(Sustained Virological Response)ウイルス学的著効達成率が得られており、また肝硬変症例においても90.9%と慢性肝炎患者とほぼ同等の成績が得られました。治療不成功例の多くではNS3D168変異およびNS5AL31+Y93変異が出現しており、これらの変異が治療効果に影響することがわかりました。また、これらの症例の治療前のウイルス遺伝子の解析により、治療前にY93耐性変異がなかった症例のSVR率が93%であったのに対し、耐性変異のあった症例ではSVR率は49%と大きな差がみられることがわかりました。さらに治療前にY93耐性変異がみられ、治療によりウイルスが消失しなかった症例ではY93耐性変異に加え、L31の耐性変異も出現しており、このような症例では多剤耐性化も懸念されます。このため日本肝臓学会のC型肝炎治療ガイドラインではアスナプレビルとダクタスビルの2剤併用療法を行う場合には、治療前

に NS5A 領域の L31, Y93 耐性変異を確認することが推奨されています(現時点では保険未承認です)。なお, 国内臨床試験の検討では治療前に L31, Y93 耐性変異がみられた頻度はそれぞれ 3.7%, 14.0% でした(いずれもダイレクトシーケンス法による)。

次に本年 6 月に genotype 2 型の C 型肝炎に対して, ソホスブビル(商品名: ソバルディ)+リバビリン(商品名: コペガス, レベトール)の併用療法が使用可能となりました。ソホスブビルは NS5B ポリメラーゼ阻害薬であり, リバビリンとの併用で 12 週間投与します。国内臨床試験の成績では IFN 未治療および治療歴のある genotype 2 型の患者に対する治療終了 12 週後の SVR はそれぞれ 97.8% (88/90 例), 95.2% (60/63 例) と高い抗ウイルス効果が示されました。NS5B ポリメラーゼ阻害薬は耐性ウイルスの発生頻度が極めて低く, 高い治療効果が期待されます。この治療は代償性肝硬変患者も対象になりますが, 非代償性肝硬変は適応外であり, 治療前に肝予備能のチェックが必要です。この治療による有害事象は概して軽度といわれていますが, リバビリンを併用するため貧血の副作用が報告されており, 治療開始前にヘモグロビンが 12g/dl 以上であることを確認すること, 腎機能低下例, eGFR が 30ml/分/1.73m<sup>2</sup>未満の症例では投与禁忌であることなどに注意が必要です。

最後に本年 9 月に発売された治療薬についてご紹介いたします。NS5B ポリメラーゼ阻害薬であるソホスブビルと NS5A 阻害薬であるレディパスビルの併用療法です。この 2 剤は 1 剤の配合

錠として発売されています(商品名: ハーボニー配合錠)。国内臨床試験の成績では 1 日 1 回 1 錠, 12 週間にわたり経口投与した genotype 1 型の C 型慢性肝炎患者 157 例において主要評価項目である治療終了後 12 週における SVR は 100% でした。安全性については臨床試験での副作用出現は 157 例中 34 例 (21.7%) にみられ, 主な副作用はそう痒症 5 例 (3.2%), 悪心および口内炎各 4 例 (2.5%) でした。また, 有害事象による投与中止例はありませんでした。このように高い治療効果と高い安全性が報告されており, 実臨床でも高い有効性が期待されています。なお, この薬剤も非代償性肝硬変患者は適応外であり, 投与に際しては適応については肝予備能の確認が必要です。なお, 今回紹介した治療法以外にも臨床試験が進んでいる薬剤が数種類あり, 今後使用可能となってきます。

おわりに

IFN フリーの治療法が登場したことから C 型肝炎の治療は大きく変わってきました。これまで IFN 治療ができなかった患者さんや IFN 治療でウイルスが陰性化しなかった患者さんでも HCV を完全排除できる可能性が高くなってきています。まだ治療を受けていない C 型肝炎の患者さんがいらっしやいましたらぜひ肝臓専門医へご紹介いただきますようお願い申し上げます。

参考文献

- 1 日本肝臓学会肝炎診療ガイドライン作成委員会編「C 型肝炎治療ガイドライン(第 4 版)」 2015 年 9 月

## 宮大医学部学生のページ

### 宮崎大学学園祭 第 11 回清花祭～宮大浪漫～

期日 平成 27 年 11 月 14 日(土)・15 日(日)

会場 宮崎大学 木花キャンパス・清武キャンパス

今年も上記のように学園祭を行うことが決定いたしましたのでお知らせいたします。今年のローガンは『宮大浪漫』です。宮大生一人ひとりの豊かな想像力と表現力で、学園祭に関わる全ての人に宮大らしいロマンを感じていただければという思いが込められています。今月と来月の医学部生のページでは、学園祭のイベントや企画の内容の一部をご紹介します。

#### 解剖・病理企画

この企画では、人体の不思議な仕組みや構造、また病気の数々について皆様にご紹介します。ポスターや人体の模型、組織標本、病理標本等を通して、人体の神秘に触れ、ご自分の身体への理解を深めていただけたらと考えております。普段はなかなか目にすることのできない標本の数々を、会場にて是非ご覧ください。

患者さんの気持ち・看護師さんの気持ち・お医者さんの気持ち

本企画は今年で 18 年目となります。患者さんや、看護師、医師など医療従事者の『気持ち』を募集し、集まった作品を一冊の冊子にまとめます。学園祭当日は作品集の無料配布と作品の一部を展示致します。患者さんや医療従事者の気持ちにスポットライトを当てることで、普段気づくことができなかった、お互いの「伝えなかったのに伝えられなかった思い」を知り、相互理解に基づくより良い医療の実現の一助となればと思っております。

#### 年齢企画

年齢企画では脳年齢や、肌年齢、血管年齢、体力年齢など、普段は測ることのできない体の様々な『年齢』を、本格的な機械を用いて楽しく測定することができます。また、血管や肌の年齢に伴う変化や仕組みなど健康に関する展示や、間違い探しなど小さなお子さんが楽しめるパネルの展示を行う予定です。たくさんのご来場をお待ちしております。

#### 漢方企画

漢方企画は皆様に漢方医学を身近に感じてもらうことを目的としています。今年も多くの方に興味を持ってもらえるようなテーマを設定し、それについて分かりやすく説明したパネルを張り出すことで、楽しみながら漢方について知る機会をご提供します。また、宮崎大学漢方部の特色でもある沢山の生薬を展示したり、毎年人気の漢方茶もお出ししたりする予定なので、是非気軽に足を運んでみてください。

## 宮崎大学清花祭医学部特別講演会

## マルチな生き方 ～アナウンサーから医師への軌跡～

吉田 たかよし 氏

灘中，灘高，東京大学，同大学院を修了後，NHK アナウンサーとして活躍。その後学士編入で北里大学へ入学し，医師免許を取得。現在は学習医学を応用した受験生専用の心療内科クリニック「本郷赤門前クリニック」院長として，受験生とその親に適切な勉強法の指導を行う。また，テレビ番組やラジオ，書籍等の様々なメディアでも活躍中。

今回は自身の経験とそれに基づいた生き方や，専門とする脳医学を活用したストレスコントロールについてお話しいただきます。様々なキャリアを経た先生ならではの講演にご注目下さい。

日 時 2015 年 10 月 25 日 (日)

開場 12: 00 開演 13: 00

会 場 宮崎市清武文化会館 半九ホール

主 催 宮崎大学清花祭清武キャンパス  
実行委員会

共 催 宮崎市清武文化会館

後 援 宮崎市教育委員会，宮崎日日新聞社，  
MRT 宮崎放送，宮崎大学医学部後援会

入場料 無料

### 応募方法

本年度はチケットを配布いたしません。観覧をご希望の方は，当日会場までお越しください。なお，座席の確保をご希望の方は，「氏名，住所，電話番号，希望の席数ならびに位置」を明記の上，次のいずれかの方法にてご連絡ください。可能な限りご希望に添える形で座席をご用意いたします。

はがき：〒 889-1692 宮崎市清武町木原 5200 清花祭実行委員会

電子メール：責任者 伊藤 (shinji\_itou@med.miyazaki-u.ac.jp)

### 【お問い合わせ】

宮崎大学医学部特別講演会

企画責任者 伊藤 ☎ 080-1445-0629

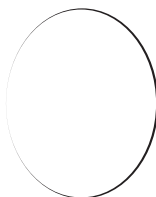
E-mail shinji\_itou@med.miyazaki-u.ac.jp

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA 通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会学術広報課(TEL 0985-22-5118)までご連絡ください。

| 送付日      | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8 月 20 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『医療事故調査制度説明会』の開催について</li> <li>・新たに薬事・食品衛生審議会において公知申請に関する事前評価を受けた医薬品の適応外使用等について(通知)</li> <li>・情報通信機器を用いた診療(いわゆる「遠隔診療」)について</li> <li>・検体測定室における一連の採血行為での医行為に該当する部分について</li> </ul>                                                                                                                                                             |
| 8 月 22 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」に基づく公募の実施について(通知)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 8 月 24 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて</li> <li>・材料価格基準の一部改正等について</li> <li>・医療機器の保険適用について</li> <li>・「医療機器の保険適用について」の一部訂正について</li> <li>・移植希望者(レシピエント)選択基準の一部改正について</li> </ul>                                                                                                                                                                       |
| 8 月 25 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人国立病院機構菊池病院が開催する認知症高齢者対策研修の案内について(案内)</li> <li>・第 23 回世界スカウトジャンボリー大会参加者における侵襲性髄膜炎菌感染症の発生について</li> <li>・粉じん障害防止規則及びじん肺法施行規則の一部を改正する省令の施行について</li> <li>・宮崎県精神科救急医療システムに係る平成 27 年度当番病院の一部変更について(通知)</li> <li>・平成 27 年下半年の安全衛生対策の推進について(協力依頼)</li> <li>・平成 27 年度「自殺予防週間」における啓発活動等の推進について</li> <li>・平成 27 年 8 月以降のセアカゴケグモ抗毒素について</li> </ul> |
| 8 月 26 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪被害による傷病の保険給付の取扱いについて(お願い)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 8 月 27 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本会会員向けチラシ「日医ニュース送付方法の変更について(ご案内)」の「日本医師会雑誌(平成 27 年 9 月号)」への同封について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                |

| 送付日     | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8 月 31日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報通信機器を用いた診療(いわゆる「遠隔診療」)について</li> <li>・ 「遺伝子治療等臨床研究に関する指針」について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 9 月 1 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 27年介護サービス施設・事業所調査の実施に関する協力依頼について</li> <li>・ 平成 27年度認知症ケア研修会～認知症短期集中リハビリテーション研修(医師対象)～【西日本会場】のご案内(情報提供)</li> <li>・ メディカルハンドブックの周知について(通知)</li> <li>・ 「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について</li> <li>・ 長期入所者等がマイナンバー通知カードを入所等先で受け取るに当たっての居所情報の登録申請等について</li> <li>・ 「介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン」についての Q &amp; A【平成 27年 8 月 19 日版】の送付について</li> <li>・ 平成 27年度健康増進普及月間の実施について</li> <li>・ 「遺伝子治療等臨床研究に関する指針」について(通知)</li> </ul> |
| 9 月 3 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品の妥結率に関する報告について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 9 月 4 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組合員被扶養者証の無効について(通知)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 9 月 7 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共済組合員証の亡失についてのお知らせ</li> <li>・ 単回使用医療機器(医療用具)の取り扱い等の再周知について(通知)</li> <li>・ 国家戦略特別区域における医療法第 46条の 3 第 1 項ただし書の認可に関する取扱い及び医療法人の非営利性の徹底について</li> <li>・ 厚生労働省「疑義解釈資料」の送付について(その 15)」の送付について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                               |
| 9 月 8 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水銀血圧計等の回収に関するセミナーの開催について(依頼)</li> <li>・ 平成 27年 8 月以降のセアカゴケグモ抗毒素について</li> <li>・ 「病原微生物検出情報」の送付について</li> <li>・ 平成 27年度感染症流行予測調査における日本脳炎感染源調査結果について(送付)</li> <li>・ 国家戦略特別区域法における外国医師等が行う臨床修練等に係る医師法第十七条等の特例等に関する法律の特例の施行について</li> <li>・ 平成 27年度病床機能報告制度の実施について</li> <li>・ 国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> </ul>                                                                                                       |
| 9 月 10日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 9 月 11日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 27年度地域医療介護総合確保基金事業(医療分)について</li> <li>・ 宮崎県精神科救急医療システムに係る平成 27年度当番病院の一部変更について(通知)</li> <li>・ 平成 27年度病床機能報告制度の実施について(通知)</li> <li>・ 全日本病院協会「看護師特定行為研修指導者講習会」(第 4 回)について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                             |



長雨の後、暑くなって、そのうち涼しくなると、今年もいつもと違う夏が終わった。子どもの夏休みの宿題が終わらなかったのはいつも通りだが、終わらなさ具合は異常だった。いろいろなところで火山活動が活発化しており、雨の降り方も異常で、農作物への影響も大きく、「何十年ぶりの...」のフレーズはいつも耳にしている気がする。噴火にしても、地震にしても、

豪雨にしても想像以上で、予報予知は参考にはなるが当たらないことも多い(のかな?), 自然災害のすごさにはなすすべがないのだろうか。鬼怒川の堤防決壊のニュース映像を見て驚いた。当クリニックも低い土地にあり、大雨や台風が来ると浸水するのではないかと、南海トラフ地震が起きたら津波が来るのではないかと結構気にはしている。浸水や津波は言葉として知ってはいても、映像として目の当たりにすることで、準備や対応に具体性がより高まる。以前も大雨の時入り口近くまで水が来たのだが、そのうちに小雨になって水が引いてくれて助かった。僕が取った行動は迷っただけで、結果としては何もなかった。後からいろいろ考えて反省したが相当な教訓になった。台風の対応もいつも悩むが、回数を重ねるうちに少しずつ上手になってきている。備えがあっても憂いなくなるわけではないが、正しく情報収集し、安全第一に行動を起こすことを再確認しました。

(西田)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

編集・校正の責任の大きさをまた痛感しています。本誌 9 月号の「各都市医師会だより」において、不正確・不十分な内容を掲載してしまいました。執筆者からも依頼があり、本号に訂正文を掲載しました。業務に対するプライドは、医師の激務に耐えぬく原動力であります。深くお詫び申し上げますとともに、正確な情報提供を基本に、さらに信頼される医師会誌となるよう努力いたします。

(広報委員長 上野 満)

＊ ＊ ＊

お庭の桜に季節外れの花が咲いています。台風で葉が落ちてその後暖かくなって勘違いしちゃったとのこと。来年の春はいまいちな花模様になるのではと心配です。最近、30cmのミニ水槽に入れていたエンゼルフィッシュ(水槽のサイズがひどいです)が産卵して孵化に成功し、今では1cmくらいに大きくなっています。赤ちゃん達のため(?), ネットで60cmワイド水槽、水草、CO<sub>2</sub>添加装置などを集めて、赤ちゃんのおむつ替えと同様に水替えなどががんばっています。

(大野)

＊ ＊ ＊

ふるさと納税してますか? 最近友人から「やらなきゃ馬鹿だよ」とまで言われ、しぶしぶ調べてみました。面倒な手続きが多いかと思っていたら意外に簡単。ネットにまとめサイトがあり、全国の自治体のお礼の品が一目瞭然。クレジットカードOK。全国の特産品の肉、米、酒、果物等をポチポチして楽しんでいます。仕組みなんて10分もあれば理解できます。今年度分は12月末までです。地域振興にもなります。今すぐふるさと納税を!

(岡本)

＊ ＊ ＊

去る9月8日に、「未来の医療を語り合う全員交流会 in M I Y A Z A K I」が開催されました。宮崎大学医学

科5年生と、医師の先生方や行政の方々との交流を目的とした会でしたが、多くの大学病院や県内各地の先生方だけでなく、河野雅行県医師会長や河野俊嗣県知事にもお越しいただくという非常に貴重な機会となりました。様々な方々のお話を伺うことができたが、医学生に対する期待の大きさを感じるとともに、多くの人に支えられているということであらためて感じる事ができました。

(枝元)

＊ ＊ ＊

シルバーウィークは、大学の友人と思い立って大分・福岡・熊本を巡る小旅行に行ってきました。ガイドブックからなんとなく目に付いた景色、食べ物やアクティビティをピックアップし、地図で近いところから順番に並べてとりあえず行ってみるというものだったので、ハプニングも色々ありましたが、最終的にはとても充実した面白い旅行となりました。思いきり遊んでリフレッシュできたので、また日常に戻ってこつこつと勉強に励もうと思います。

＊ ＊ ＊

後発医薬品に変更しても薬剤費が安くなった実感がないという患者さんの声があります。それをうけてある県の代議員が日本医師会に、後発医薬品による医療費削減効果はあるのかという質問をしています。日本医師会の返答は医療費削減効果を示すデータはなく、薬剤費を減らしても調剤技術料が増えて医療費削減に結びついていない可能性があるというものでした。調べてみると平成26年度に調剤薬局の受け取った調剤技術料は1兆7,682億円、この5年間の年平均伸び率は4.0%です。眼科と耳鼻咽喉科を合わせた医療費は約1兆7,000億円と推定されるので、その額の大きさが分かります。

(佐々木)

＊ ＊ ＊

## 今 月 の ト ピ ッ ク ス

## 日州医談 宮崎県の小児医療の現状と課題

少子高齢化社会の到来が告げられ、高齢者医療の再編・充実が叫ばれていますが、一方、小児医療もけっしてなおざりにされてよいものではありません。救急医療体制ばかりでなく、医療費助成や、乳幼児健診でさえ自治体によって差があることなど問題点が指摘されています。高齢化社会を支えるためにも、子どもが大切にされる社会が必要です。系数智美理事による報告です。

4 ページ

## 専門分科医会だより 小児科医会

偶然ですが、専門分科医会だよりも今月は小児科医会です。麻しん風しんワクチン 1 期接種率全国最下位は衝撃ですが、その中でも様々な取組みで活動を広げている医会の現状を、三宅和昭会長が紹介しています。

19 ページ

## 診療メモ C 型肝炎の新しい経口剤治療について

C 型肝炎に対し、2014 年 9 月以来導入されてきた新しい経口剤治療は、目覚ましい成績を上げているようです。さらに高い治療効果を目指して、遺伝子解析による耐性変異なども分析が進んでいるとのこと。副作用や、不十分な治療効果に悩んだ IN F 治療は過去のものになるのでしょうか。肝疾患センターの永田賢治先生の解説です。

72 ページ

日 州 医 事 第 79 号 ( 平成 27 年 10 月号 ) ( 毎月 1 回 10 日 発行 )

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行  
〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail office@miyazakimed.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副 委 員 長 釜付 弘志、沖田 和久  
委 員 篠原 立大、中村 豪、上條 苑子、押川 隆  
大野 妙子、西田 隆昭、岡本健太郎、枝元 真人、佐井 佳世  
担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 荒木 早苗、佐々木 究  
事 務 局 学術広報課 瀬戸山千春、牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。  
定 価 350 円 ( 但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります )